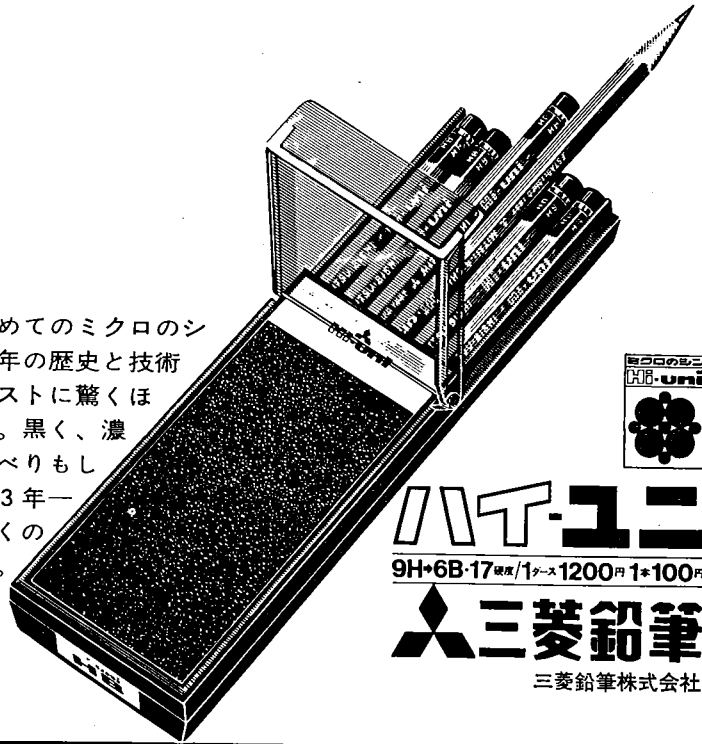


ハイユニは世界ではじめてのミクロのシンです。三菱鉛筆の85年の歴史と技術がみのり、あらゆるテストに驚くほどよい結果ができました。黒く、濃くきれいに書け、書きべりもしません。発売してから3年—専門家から学童まで多くの人に愛用されています。



ハイユニ

9H・6B・17種/1ケース1200円 1本100円

三菱鉛筆

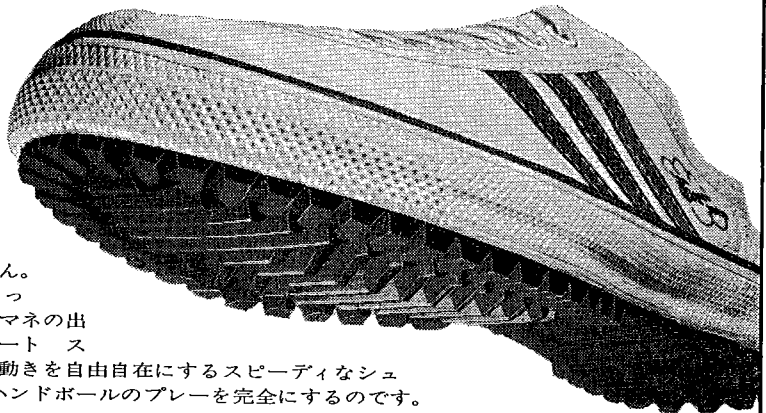
三菱鉛筆株式会社

多角的な動きを
軽快に 鋭く……

**Onitsuka
Tiger**

ハンドボール
シューズなら
タイガー印で
す——

ハンドボール専用のシューズといえばタイガー印をおいてほかにありません。軽くて適度な弾力性をもった特殊成型底は ほかでマネの出来ない《技術》です。スタート ストップ そして多角的な動きを自由自在にするスピーディなシューズ。このシューズがハンドボールのプレーを完全にします。



白地にオリンピックライン ☆22.5~27.0cm ¥1,100

タイガー ハンドボールシューズ

オニツカ株式会社 本社/神戸市須磨局寺田町3-1 支店/神戸・大阪・東京

日本、アジア地域予選へ出場

～ミュンヘン・オリンピック～

日本はミュンヘン・オリンピック(昭和47年8月)出場をかねて韓国、イスラエルとアジア地域予選を行うことになった。

9月18日からスペインのマドリッドで開かれた第13回国際ハンボール連盟(IHF)総会で決定したもので、日本協会はただちに韓国、対イスラエルへの強化策をねる一方、同予選の日本開催についても検討することになった。

ミュンヘン・オリンピックのハンドボール競技は16ヶ国(男子のみ)で実施されるが、その出場国について、IHFではすでに今春フランスで開かれた第7回世界男子7人制選手権の上位8ヶ国に代権を与えており、残り八つの座をいかにして埋めるか注目されていた。

今総会では、この議題の行方が最大の焦点となっていたがIHF技術委から提出された各大陸別に残りの代表を選ぶという案が、五輪の精神にのっとるものとして多くの支持を得た。同時にヨーロッパ大陸……5ヶ国、アジア大陸……1ヶ国、アフリカ大陸……1ヶ国、アメリカ大陸……1ヶ国という数字がIHF技術委から示され、実力的にも、IHF加盟国数の面でも妥当な線として可決された。

この報せをうけた日本協会筋では、いちぢ「無条件出場」という情報もあっただけに意外とする声も聞かれたが、大方は「予選必至」と推測していたため「まず順当」「望むところ」「予選に勝って堂々出場権を得るべきだ」と歓迎する態度を見せている。

試合方法は、3ヶ国が2回戦制の総当り(リーグ戦)、原則として「ホーム・アンド・アウェイ」(互いの国に遠征しあう方法)だ。期日は47年3月までに終了させるという規定だけで、具体的な日程は各大陸に一任された形だが、アジア予選は来年の下半期(7月～12月)とみられる。

【関連記事、2・3頁に】

時評

別掲のとおり日本は注目のミュンヘン・オリンピック予選で、IHF総会の決定にもとずきアジア地域に出場、韓国、イスラエルとともに「一つの座」をめぐる競争となった。

予選への展望などは別項にゆずるとして、IHFがオリンピックの精神に基いて各大陸における活動を重視したことは、これまでともすればヨーロッパ中心だっただけに注目してよいものがある。

IHFでは、これまでも大陸という単位を認めてはいたが、(IHF世界選手権大会規程)かなり流動的に扱われており今春の世界選手権の地域予選でアフリカ大陸が無視されてモロッコが大会(予選)をポイコットしたことや、アメリカ大陸代表となったカナダが経済的理由で出場辞退するとすぐにスペインを繰りあげ出場させようとし、アメリカから抗議をうけスベインの参加を撤回したなどの事態は記憶に新しい。

オリンピックをきっかけにIHFが各大陸の存在をはっきりさせたことは当然といえば当然だが、大いに歓迎すべきだろうところだ、そうなる各大陸

とりわけアジアの盟主として自他ともに許す日本の立ち場は「責任重大」である。韓国にしても、イスラエルにしても、世界選手権へ連続出場しヨーロッパと積極的な交流をしている日本に一目をおいておき、韓国も、今回仮加盟国になった台湾も日本が中心となった「アジア・ハンドボール連盟」の発足を強く希望している。

卒直にいったって同連盟結成に対する情熱と態勢は日本がいちばん立ち遅れている。韓国はこの問題を協議するのならばすぐにも代表を送るといつているし、発足5年にしかならぬ台湾はホンコンをはじめ東南アジア諸国への普及に早くも手をつけはじめている。

日本協会・荒川理事長も「今回のオリンピック予選が一つのチャンス」とみて、日本側の意向をまとめることをほのめかしているが早急に手を打つべきだ。各大陸にIHF直属のコミッションを置くことは昨年の国際審判員講習会でも話題となっており、アジアにおいてもその機は完全に熟している。

この問題を善処できなければ日本はアジアの盟主という看板をおろさなければならぬまい。

(X)

「ハンドボール」

10月号(第80号)目次

- 日本、アジア地域予選へ……(1)
- 時評……(1)
- アジア予選……(1)
- 日・韓・イが対戦……(2)
- 国民体育大会予想……(4)
- 学生東西対抗戦……(8)
- オリンピック候補合宿おわる……(10)
- 新居浜工高訪韓リポート……(12)
- 住化菊本、韓国へ……(15)
- クラブ・中学対策を考える……(18)
- 痛感すること……光島磯雄……(20)
- 海外トピックス……(22)
- IHFコーチシンポジウムより①……竹野奉昭……(24)
- ハンドボールの歩み②……(26)
- 球界パトロール……(29)
- 各地の記録……(31)
- ブロック高校選手権……(32)
- 編集後記……(32)
- 表紙写真 前半14分東軍・植田巧みなシュート決める。全日本学生選抜東西対抗より(9月6日・名古屋)……(32)

朝日新聞社提供

ミュンヘン・オリンピックアジア地域予選

日本、韓国・イスラエルと対戦 2回戦

全試合、日本開催の可能性も

【1頁参照】日本がアジア地域予選で韓国、イスラエルと2回戦総当たり法で顔を合わせる事になったニュースは、オリンピック候補選手の間にもすぐに広がったが、その受けとりかたはまちまち。特にイスラエルのアジア地域転入は意外な感じが強いようだ。

「ともかく、これで落ち着くことができませんよ」というのは村田

弘オリンピック対策部長（前世界選手権監督）。

それというのも、「日本にアジア代表権を自動的に与える」にはじまって出場国の選考については諸説が乱れとび、不安のまま強化対策を推進して来た事情があるからだ。

予選案（ブレ・オリンピッククトーナメント）が提出されかなり有力と伝えられていた。それが、オリンピック精神に則った大陸単位の地域予選というIHF技術委員会案採用に落ち着いたのも、そうした事情の説得が総会のムードを支配したからだ。

今春の世界選手権直後、一部に流れた「日本の無条件出場」説もその時点ではたしかにそうした意向がIHF筋にあったようだが、消息筋は一貫して「予選はさげられない」とみていた。IHF総会の決定はまず妥当の線といってい

勝算抱くイスラエル

アジア地域にイスラエルが転入して来たのは日本協会関係者のほとんどが予期せぬことといった表情である。しかも、これはイスラエルの積極的な働きかけではなくIHFの決定なのだ。

IHFとしても、この機会にハンドボールを全世界的なスポーツに成長させ、オリンピック種目への定着を願っており、そのためには競技の普及がヨーロッパに片寄りすぎている現状を一日も早く脱し、各大陸、各地域にまんべんなく広げさせる必要がある。

今回のIHF総会にはスペイン協会から全世界を「一区」とした

このほかの数ヶ国に

ミュンヘンオリンピック

- ▼出場決定国(8) ドイツ、ユーゴ、デンマーク、ルーマニア、東ドイツ、チェコスロバキア、西ドイツ、スウェーデン、ハンガリー
- ▼予選アジア地域(代表数1) 日本、韓国、イスラエル以上参加決定
- ▼ヨーロッパ地域(代表数5) ヨーロッパ、アイスランド、フランス、ノルウェー、リビア、スウェーデン、スペイン、オランダ
- ▼アフリカ地域(代表数1) アフリカ連合、モロッコ、チュニジア
- ▼アメリカ地域(代表数1) アメリカ、カナダ、ブラジル、メキシコ

これまでの交流

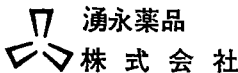
日本—韓国	
昭36. 10	※日体大遠征 6戦全勝
昭38. 6	韓国学生選抜来日 4勝3敗1分
昭44. 7	日体大遠征 4勝2敗3
昭45. 7	成均館来日 2勝3敗
日本—イスラエル	
昭36. 4	※全日本本選 ○16—15 イスラエル選抜
昭38. 4	※全日本本選 ○23—8 イスラエル全ハカ
昭39. 3	※全日本本選 ○22—6 イスラエル全ハカ
昭45. 3	※全日本本選 ●11—13 イスラエル全ハカ
昭45. 3	※全日本本選 △10—10 イスラエル全ハカ
昭45. 3	※全日本本選 ○17—6 イスラエル全ハカ

(注) ・韓国ナショナルとの対戦は1試合もなし
 ・高校の交流記録は省略
 ・※印は11人制

めばえはあるがこのうち、IHF加盟国（正会員）は日本と韓国だけなので、オリンピック予選も当然両国によるものとみられていた。西アジアのイスラエルはこれまでの世界選手権同様のヨーロッパ地域に参加するだろうと推測された。しかし、イスラエルはアジア競技連盟（AGF）のメンバー。IHFはこれまでが特例だとしてイスラエルのアジア転籍をこの機に一気に決めたものだ。

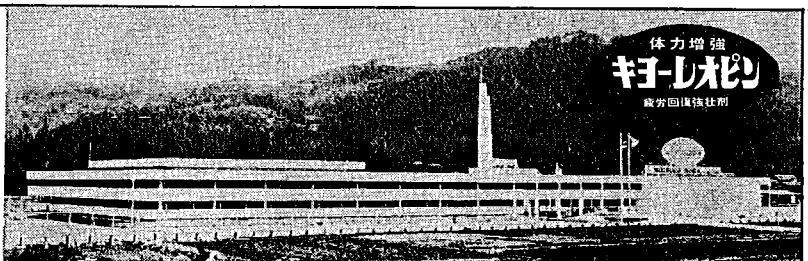
イスラエルもはじめは「アジア入り」に難色を示したようだが強国の並んだヨーロッパ地域をさけて、勝算のあるアジアに初登場するのにもマイナスイメージではない。今

近代化を誇る
湧永薬品広島工場



本社／大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5
 東京支店／東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店／横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
 工場／広島・和歌山



春世界選手権の帰途立ち寄った、世界10位」の日本と引き分け(10-10)も自信もある。

国際的にはこれまで実績らしいものをあげていないが、同国ではサッカーにすぐ人気スポーツ。東京オリンピックの聖火が同国に立ち寄った時に開かれた記念競技会ではその一種目としてハンドボールが実施されたほどだ。選手強化も着々と進んでいるようで手強い

韓国も意気さかん

日本開催、いくつかの課題
韓国の意気ごもみさかんだ。日本との交流で腕をみがき、その上に先天的なボールゲームセンスを加えている。西ドイツからコーチを招いて指導を受けているという

ある程度は予想されたような結果となったが、イスラエルがアジアからというのは、やはりオリンピックと大陸ということであろうか、組み合わせを見て、これはという感じを抱いたのは筆者だけだろうか。

韓国、イスラエルとも、これまでに全く対戦したことのない国という訳ではないが、ここの一番という試合は全くやったことはない。両国とも新しい国家であり、種々の情勢から、国内はナショナルチームでこりかたまっていることがい

ナショナルチームがベルのむこうからいつころに姿を現わさないのも無意味で、ある消息通は『実力的に優位とはいえないものの粘りのある韓国、イスラエルに当たるより、全世界一区でタイアの判った欧米チームと対戦したほうがよかつたかも知れない』と云っている

11月には初の社会人交流として全日本実業団4位の住友化学菊本(愛媛)が遠征するが(15頁参照)オリンピック予選の帰すうを占う、一つのカギになるのではなからうか。

ところで、日本協会ではこの予選会6戦が日本で開催される可能性もあるとみている。情報によると韓国、イスラエルともIHFによって規定された40

執念に優るものを

るいろいろの方面から充分に考えられる。

このような国の選手というのは、本番には予想もできない試合運びを往々するものである。『根性』というか、『執念』というか、とにかく、勝つということに全てを傾けてくるのだ。

日本チームがそういうものにかけていくという気は毛頭ない。しかし、昭和元禄とやらで、泰平ムードにひたっている国民性と準戦時下のピリピリした国民との間の国民感情の差、これからくる勝つ

M×20Mの室内コートがないという理由からである。

また、各国を訪れあうホーム・アンド・アウェイでは日本・韓国間はともかくイスラエルとの間は遠く、たがいに渡航費がかさむ。一堂に集り、開催国が慣習にもとずいて滞在費を負担すればかなり楽になる。しかし各国とも経済的条件が好転するのは歓迎しても、遠征の不利はできるだけ避けたいところだろう。

また、国内態勢にもいくつかの課題がある。総務企画部の案では総額九百万円の経費が必要でその裏付けをどうするかがなかでも大きい。史上初の大目標達成をわれわれの目の前で、と願うのは大それた夢だろうか。

と云うことに対する執念の間にはやはり、大きな差があると云ってほしいと思う。ましてや互いのホームコートで1試合づつとなれば乗りこみの試合は苦戦を覚悟しなければなるまい。

現在の全日本の戦力からすれば両国とも負ける相手ではない。しかし、大差をつけて勝てる相手ではない。

執念に優るものをもった全日本を作らないとミュンヘンへの道は遠いものになってしまうと思う。

藤本 強

(本誌編集長)

予選方法で激論

渡辺副会長が帰国

IHF総会に出席した日本協会渡辺和美副会長は9月28日午後7時14分羽田着の日航機で帰国、空港ロビーで主としてオリンピック予選問題に關し次のように語った『予選の方法については総会前の予備会議でも各種の提案が出されて激論、中央・南ヨーロッパ諸国が17日深夜に秘密会議を開くなど、各国の裏面での動きも活発で問題の重大さが知れた。34ヶ国が出席した総会でもなかなか結論がでず、採決ということになり、結局IHF技術案が18対2、白紙6(すでに出場権獲得の8ヶ国は無投票)で支持された。アジア予選はそれぞれの国を往來して行うべきが本筋で、一國に集って開催するかどうかは、あくまで今後の三ヶ国による話し合いにかかると審判員はIHF技術委員会によってヨーロッパから派遣されてくるだろう。各国の日本への評価は高く世界選手権で10位となったことに敬意を払ってくれている。女子の世界選手権は46年12月・オランダに決まったが、ルーマニアとユーゴが大会前日本チームに立ち寄って欲しいといっていた。

スウェーデン男子ナショナルチームの来日は来年9月1日から3週間7試合に決まった。なお、台湾の仮加盟が正式に承認された』

純競技仕様

＝すぐれた機能は美しい＝

デサント製品はすべて本格派の名にはじない<純競技仕様>……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

THE BEST
for typical sportsmen

original by
DESCENTE

スポーツ服装専門メーカー
株式会社 デサント

《本格派》

デサント
スポーツ服装

- ハンドボール ●ベースボール
- ゴルフ ●スイミング ●スキー

第25回国体展望

第25回国体ハンドボール競技は10月10日から15日まで岩手県盛岡市で行われる。各部門の有力チームを探ってみよう。一般男子には7人のオリンピック候補が登場する。府県別の得点争いは総合では埼玉・大阪・岩手・東京・熊本・愛媛、女子では熊本・大阪・岩手らが有力のようだ。(編集部)

10月10日から盛岡市で

れんされたチームプレーが身上。

上村、清水、松下らによる攻撃陣はポスト、ミドルの使い分けも巧く多彩である。両校はインターハイでは準々決勝で対戦、13・12で新居浜工が勝っているが、今回も大激戦となろう。

両校を追うのは大阪選抜か。インターハイ2位の枚方から入江松本、GK藤井ら7人と180cmの長身・楠田(池田)などでスケールの大きい布陣。混成の欠点さえおぞかねば優勝も十分に望めよう。

ダークホースは全岩手、福岡選抜、全静岡あたりだろう。

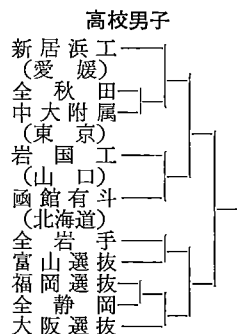
盛岡高、盛岡一、盛岡四の三校から精鋭を集めた全岩手は地元でもあり練習量は充分。

福岡選抜は寺西らの小倉工勢が中心。2度目の優勝を旨とす全静岡は4校からのピックアップで激戦の東海予選を勝ち抜いて来ている。

最大の波乱がおきるとすれば全秋田の進出だろう。184cmの由利のほか菅野、阿部を中心とした湯沢高勢に佐々木(大曲)を補強、まとまりがある。中大附も楽観は許せない。

インターハイ代表を押しつけて出場する岩国工(山口)×函館有斗(北海道)は好勝負を演じようが準々決勝はブがわるい。

富山選抜は水見、小杉の連合だが迫力に欠ける。



注目される茨城選抜

連勝狙う新居浜市商

高校男子
過去2年
は、単独

校が優勝、しかも菊池農(熊本43年)、新居浜市商(愛媛44年)とインターハイ優勝校がダブル・クラウンである。

今年水海道二(茨城)が単独出場を採らず、選抜編成が8チームとこれまで最高の数だ。選抜軍が制勝するようだと女子も混成を採る県がいくつか増えてこよう。

さて、本命はやはり茨城選抜と2連勝を狙う新居浜市商だ。

茨城選抜は水海道二の優勝レギュラーGK渡辺、富山、谷沢(竜谷沢(節)ら7人に麻生2、鉦田2、笠間各1が補充されている

シュート力のある水海道勢を軸に攻撃力は高い。

新居浜市商は夏の大会準決勝で水海道二に敗れているだけに雪よくの意気にもえている。曾我部



対抗は全大阪―広島選抜の勝者北海道、全岩手あたりだろう。

全大阪は、近畿ナンバーワンの大谷の主力6人に185cmの諏訪(清友)ら5校から有力プレイヤーを加えている。広島選抜も強そう

だ。山陽女、第一女商の連合軍だが、169cmの村上、松岡(山陽女)らの攻撃力は一流。甲乙つけがたい布陣だ。

北海道は室蘭商に室蘭清水丘、登別から各1名を補っての登場、花巻農中心の地元・全岩手とは白熱するだろう。

ダークホースは熊本選抜。熊本市高の9人に九州学院から2人を迎え、九州予選では前評判の高かった長崎、佐賀代表らを破った。

新居浜市商を倒すようだと余勢をかいそうだ。長野選抜、小祿(沖繩)、涌谷(宮城)はまとまりはよいが攻守のスケールで上位進出は苦しいようである。

新居浜工追う中大附、大阪

高校男子(10チーム)の組み合わせ、単独4チームが一サイドに固まった。

しかもインターハイ(8月、彦根市)優勝の新居浜工(愛媛)と有力候補中大附属(東京)が順当なら2回戦で顔を合はす。

二冠を狙う新居浜工は韓国遠征で調子を乱したが、いまは完全に復調、喜井、曾我部、GK塩田らを中心として自信にあふれた攻守を見せるだろう。スピード豊かな攻撃は特にみごとだ。

中大附属は都会チームらしい洗

シカゴ・リーフ社との技術提携から

生まれたユニークなチューインガム

カバヤ・リーフ株式会社・岡山市下石井 1-2-3

《K&Lのガム》

- ミント・カット・ガム
- オレンジ・カット・ガム
- チェリー・カット・ガム
- レモン・カット・ガム
- ジュエル・カット・ガム

ワクナガ、雪じよくなるか
10連勝めざす大崎電気

一般男子(30チーム) 大崎電気 (埼玉)

とワクナガ薬品(大阪)の争覇とみる声が圧倒的。両者は8月の全日本総合決勝で顔が合い延長の末14-12で大崎が勝っている。

大崎は近森が渡独したため欠けるがGK下里、近藤、東のオリニック候補を攻守の要に旗野、西村の両ベテランのほか谷口、林、沢田、佐藤ら若手も腕をあげスキのない布陣だ。

ワクナガの顔ぶれも豪華である木野、早川の両オリニック候補に市原、森、高橋、戸田という攻撃陣は大崎を上廻るものがある。力(パワー)と技の使い分けも巧みで全日本の雪じよくに斗志満々

という。

これまで大崎の独走(注・第16回大会から9年連続優勝)でいささか興味のうすれていた優勝争いがワクナガの登場でにわかになくなった。両者を追ってベストエイトに進むのは全愛知、東京スターズ、常盤工業(岐阜)、本田技研(三重)全岩手、全神奈川あたりだろう。

全愛知、東京スターズは特に注目される。全愛知は野田、藤中(いずれも大同製鋼オリニック候補)に戸谷、加藤GK柳川の大同勢、松浦(桜丘会)、安藤(中京ク)らを揃えている。大崎戦の勝利にも秘策をたててぶつかるとみられ、最大のダークホースだ。

東京スターズは大西・高野、藤原GK綿貫らの東京教員の主力を中心に都予選では前回2位の三景

を破っている。山田、高橋、GK渡辺らの常盤工業とは大激戦を演じよう。心配なのは持ち駒不足なことと1回戦の富士レンジ(兵庫)が油断のできぬ相手なこと。

このほかでは、住友化学菊本(愛媛)、日新製鋼(広島)、丸善石油(和歌山)、千代田印刷機製造(千葉)の実業団群、熊本、全福岡、氷見ク(富山)、田原外郎ク(山口)、奈良クらのクラブ勢が強力である。田原外郎ク×奈良クは1回戦屈指の好カードとみられ中川、広井、皆本ら下関中央工OBが要所をしめ、奈良クは鳥井が相変らずシャープなプレーを見せ、得点力がある。

関東選手権2位の光電工業(群馬)、唯一の自衛隊チーム・海上馬(鹿児島)も攻守のバランスがとれた好チームだが1回戦の相

手を強い。鹿児島は全岩手を降せば一気にベストエイトまで突走るだろう。

今年の実業団が13チーム(青森マツダクを含む)とこれまでになく数を占めた。緒戦で顔の合う日新製鋼(広島)、北陸電力(福井)なども着実に成長。そうしたなかで京都ク、函館青雲ク、下北手ク、高松ク、金沢市民ク、東根球友会といった愛好者の集りが名を連ねているのは嬉しい。初出場の新市民クなどいかにも国体にふさわしいチームではないか。クラブ勢の意気を大いに示して欲しい。

動くまい大洋の3連勝

一般女子(12チーム) 優勝争いは10年つづけて実業団同土になるだろう。それも大洋デパート(熊本)の2年連続4冠王を狙う快進撃が焦点だ。

大洋の準決勝の相手はおそらく東京重機(東京)、決勝は大崎電気(埼玉)か田村紡(三重)。全日本総合を見たかぎりでは「ストッパ・ザ・大洋」はどこも難しい

垂水、渡辺、島田、米、三宅、枝尾、GK小原と国内最高のメンバーを揃えてテクニク・体力とも抜群。小林、村中、蔵田ら後続メンバーも成長しており、よほどのことがないかぎり大洋の3連勝は動かないと思う。

大全文京山崎

大全文京山崎

日本ハンドボール協会検定球

新製品 / チェコ型

東京 タチカラ株式会社 大阪

大崎電気 17-11 東京スターズ(東京)
 (埼玉) 36-14 塩山ク
 全神奈川 23-22 (栃木)
 光電工業 18-14 (山梨)
 (群馬) 18-14 (山梨)
 千代田印刷 18-13 日立製作所
 機製造 (千葉)
 (千葉)
 △同第5・6代表決定戦
 AOK栃木 36-14 塩山ク
 東京スターズ 29-22 日立製作所
 △同女子第1・2代表決定戦
 東京重機 15-4 日本ビクタ
 (東京) 1 (茨城)
 大崎電気 40-0 佐原女子ク
 (埼玉) (千葉)
 △教員
 埼玉 39-10 群馬馬
 ○北信越
 △高校男子
 富山選抜 13-11 石川選抜
 △同女子
 長野選抜 8-5 富山選抜
 △一般男子第1・2代表決定戦
 氷見ク 13-12 北農ク
 (富山) (長野)
 金沢市民ク 27-9 北陸電力
 (石川) (福井)
 △同第3代表決定リーグ
 北陸電力 21-12 柏崎ク
 (新潟) (新潟)
 北陸電力 25-11 北農ク
 柏崎ク×北農ク戦は行わず。
 北陸電力が代表
 △同女子
 福井女子ク 7-5 常盤ク
 (福井) (新潟)

▽教員
 福井 28-11 富山
 ○東海
 △高校男子
 全静岡 13-10 岐阜選抜
 △同女子
 岐阜選抜 5-3 全愛知
 △一般男子第1・第2代表決定戦
 全愛知 25-11 本田技研
 (三重) (三重)
 常盤工業 17-12 清商ク
 (岐阜) (静岡)
 △同第3代表決定戦
 本田技研 13-7 清商ク
 △同女子田村紡(三重)、プラザ
 工業(愛知)が代表に決定。記
 録は、本誌31頁参照。
 △教員
 愛知 15-11 静岡
 ○近畿
 △高校男子
 大阪選抜 18-16 兵庫選抜
 △同女子
 全大阪 5-2 兵庫選抜
 △一般男子第1・第3代表決定戦
 京都ク 24-12 八幡工OB
 (京都) (滋賀)
 丸善石油 23-15 富士レジン
 (和歌山) (兵庫)
 ワクナガ薬 29-12 奈良ク
 品(大阪) (兵庫)
 △同第4・第5代表決定リーグ
 富士レジン 22-12 八幡工OB
 奈良ク 22-8 八幡工OB
 富士レジン×奈良クは行わず。
 富士レジンと奈良クが代表

▽同女子
 大阪スターズ(大阪) 13-4 京都クラブ
 △教員
 大阪イーグルス(大阪) 20-15 和歌山
 ○中
 △高校男子
 岩国工 23-15 岡山選抜
 (山口) (山口)
 △同女子
 広島選抜 11-4 徳山
 △一般男子第1・2代表決定戦
 田原外郎ク 32-8 全倉敷
 (山口) (岡山)
 日新製鋼員 12-11 境港市役所
 (広島) (島根)
 △同女子
 徳山高OG 21-10 岡山ク
 (山口) (岡山)
 △教員
 山口 14-13 岡山山

○四国
 △高校男子
 新居浜工 25-8 高松工芸
 (愛媛) (香川)
 △同女子
 新居浜市 10-3 池田
 商(愛媛) (徳島)
 △一般男子代表決定リーグ
 住友化学菊本(愛媛) 35-10 高松ク
 本(香川)
 高松ク 21-8 高知ク
 住友化学菊本 29-12 高知ク
 住友化学菊本と高松クが代表
 △同女子

高知ク 17-7 三本松OG
 (高知) (香川)
 △教員
 香川 不戦勝 愛媛
 ○九州
 △高校男子
 福岡選抜 11-7 熊本選抜
 △同女子
 熊本女 10-5 佐世保商
 (熊本) (長崎)
 △一般男子代表決定リーグ
 海上自衛隊 21-16 全福岡
 (鹿児島) (鹿兒島)
 昭電ク 20-18 佐世保ク
 (大分) (長崎)
 熊本ク 26-13 海上自衛隊
 (熊本) 鹿島
 全福岡 24-20 佐世保ク
 熊本ク 23-9 昭電ク
 海上自衛隊 18-16 佐世保ク
 鹿屋 16-12 昭電ク
 全福岡 16-15 熊本ク
 佐世保ク 16-15 熊本ク
 海上自衛隊 20-14 昭電ク
 鹿屋 22-17 全福岡
 熊本ク、海上自衛隊鹿屋、全福
 岡が代表
 △同女子
 大洋デパー(熊本) 22-4 鹿兒島ク
 ト(熊本) (鹿兒島)
 △教員
 熊本 17-16 大分



ハンドベア

ハンドボールシューズ!



22.5~27

¥1,300

ベア株式会社

オリンピック候補が初合宿 基礎練習 みっちり

注目のオリンピック第一次候補選手17名による最初の強化合宿が9月16日夜から20日まで東京・青少年総合センターで行われた。

若さと斗志にあふれた選手顔、顔、顔。日本のトッププレイヤーが一堂に会したにふさわしい練習をくりひろげオリンピックへ向かっての本格的な第一歩は、まず順調にスタートしたといつてよいだろう。

新鋭・花輪(中大)や期待の左腕有永(立教)、新実(芝浦工大)それにGK大村(日体大)が加つて若さにもあふれている。

……コーチ陣はオリンピック対策部の村田部長と竹野コーチ。二人のコンビも2年目を迎え、すっかり落ち着いた指導ぶりだ。一日午前、午後、夜と計6〜8時間の練習。村田部長は「今回の合宿はシュート力の養成とディフェンスの強化を目標」といっていたが、どちらも日本のナショナルチームには「宿命的な課題」。

世界選手権前にもかんりの練習量をつんで自信をもって臨んだがやはり宿題は宿題として残っているようである。

新たにGK大村(日体大)を追加

日本協会では、このほどミュンヘン・オリンピック第一次候補選手としてGK大村久選手(22才・日体大4年、塩山商出)を追加すると発表した。

夏の各全日本選手権終了後、候補選手の追加が予定されていたものでFPも二〜三名がリストアップされたが見送られた。

なお、近藤克彦選手(大崎電気)が渡独日本誌前号既報IIして候補を辞退したのにつづき、江名英彦選手(三景)の辞意も固く日本協会も了承、10月1日現在の第一次候補選手はGK3、FP14の計17名。

返し。射っては拾い、拾っては射つ。本田(日体大)、下里(大崎電気)、大村のGKトリオが堅守を見せてシュートを阻めば、FP陣はまるで試合のような斗志をムキ出しにして強シュートを放つ。

木野(ワクナガ薬品)、飯田(大崎電気)、斉藤(日体大)、中井(同志社)、平岡(東京教員)、有永、新実ら主力アタッカーのシュートはゴール後の壁をいまにも突き破りそうだし、バーに当たってはね返るボールは12M上の天井にぶつかりそうだ。

また野田、藤中(ともに大同製鋼)、東(大崎電気)、早川(ワクナガ薬品)、花輪らテクニシャンの巧妙なシュート力も目立つ。彼らは世界が賞讃と驚異の目で見つめる「スピードでスマートな日本戦法」の要なのだ。

……攻撃練習を見ているとこのスピードでも本場にはほど遠いのかと思いたくなる。

村田部長は「問題はロングシュートだ」という。ゴールエリアからなら日本選手の力と技は外国選手にヒケをとらないが、今や国際試合は10m〜12m附近から射ちあえるパワーが一つのポイントになっている。この地点から相手の長

身ディフェンスのスキを抜き、さらにゴールを成巧させるシュートとなれば、これまでとは一けた違うスピードが要求されるわけだろう。

……選手たちの覇気もすさまじい。一つ一つのプレーに「心」を打ちこんでいるのがよく判る。チームの中も競争なのだ。

夏の大会で左脚を痛めた近藤(大崎電気)は大事をとって見学していたが、練習時間の大半、鉄アレイを振って離さなかった。

周囲の目も熱っぽい。同じ時期に技術指導の初会合が開かれたせいもあるが、連日荒川理事長をはじめ日本協会関係者がコートサイドに姿を見せ、また夜の練習にはセンターに宿泊している人たちが見学に集って来た。「オリンピック」という史上初の大目標が内にも外にも異常な高まりを誘っているといつてよいだろう。このムード、大切にしなければならぬ。

なお、第二次合宿は12月21日から25日まで東京で行われる予定

12月に第2次候補発表か

日本協会ではオリンピック第二次候補選手の発表時期について検討していたが、国体(10月)、全日本学生(11月)、全日本選抜(12月)の三大会終了を待って行うこととし、全日本選抜最終日(12月20日)に発表できるよう準備をすすめる。

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使はれて居る!

サービス部
新宿区新宿2丁目電保前
TEL (34)2979-1016

望月運動用品KK
東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所(622)0746

合織糸・合織混紡糸



田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17
TEL 四日市 6-2156 (代表)

郵便番号 512

新居浜工高 訪韓リポート



日韓親善交歓試合に参加して

監督 千葉 秀雄

第三回日韓親善交歓試合に参加しての感想をのべてみたいと思います。

先ず全日程を無事に親善の目的を果すことが出来る様に御指導御配慮下さった日本体協、役員の方々に對して心よりの御礼を申し上げます。

又韓国の関係役員諸氏の御厚情御協力に紙上ではありますが心よりの敬意を表したいと思います。

八月十八日吾々選手団は異国の風景を機中から眺めながら金浦空港に到着しました。空港での盛大な歓迎を受け奉陵の選手村に入村致しました。ソウルの気候は日中は日本と変らない温度であるが湿度が低いいため爽やかで夜は九月中

旬頃を思わず位の涼しさであった食事の内容は充実しておったが選手は多少困っていたのではないかと思われた。

出発前に耳にしていたのですが韓国の現状から生れる若人のエネルギーを充分見せられた感が大であった。選手は勿論のことであるが応援の生徒の一糸乱れぬ統制のとれた行動は吾々も見習うべき事ではないかと考えさせられました。実にみごとであった。

試合及び交歓会における若人同志のスポーツを通じての友情を深められたことは何にもかえることの出来ない収穫でありました。韓国選手をみて感じたことは下半身のねばり強さ弾力性の豊かさ

はうらやましい限りであった。ダウンボールの処理等における機敏さとねばり強さについては吾々も研究し身につけるべく指導する必要があると思えます。

試合をみて難点をあげればコートがせまく速攻が出せない。ボールが国際公認球でなく仕上げがまづよく滑ったこと、スカイプレーがサイド三米内でのパスをした者のとび込みがラインクロスになること、この点については日本ではやっているが韓国では実施していないとのこと話し合いもつたが郷に入つては何かで彼等の意見を入れた。判定に対しては解釈の異いが随所に見受けられた。



韓国高校チームの印象

コーチ 高橋 清和

第三回日韓高校スポーツ交歓競技会ハンドボール競技は八月十九・二十日ソウル市獎忠体育館で東亜、麻浦両代表校と二試合行った両チームと対戦し感じたことは先ず体格は立派で巾のある、がっちりとした身体と随所に見られる足腰の強さルーズボールに対する瞬発力は我々を驚かせた。攻撃面に於いて特に目立った点は45度からサイドへのバックパス

このことに関しては両国のプレーンでもって協議して純心な選手が納得して競技ができる笛を吹いてもらいたいと思いました。

日程の最後の市内観光ショッピング等短い時間ではあったが選手達は夫々楽しく異国の空気を充分に呼吸したと信じます。又親善の役割を果した満足感をもってソウルを後に致しました。今回の体験を通してより良く充実させるべく全員が一致して努力を重ねてゆく気持でおります。来年以降も代表となれることを目標にして精進致しております。駄文ではありませんが感想と致します。

とスカイシュートのコンビネーションが非常に良く我々の防禦の悪さも手伝ってかなり効果を出していた。速攻を第一の武器としていた。速攻であるがGKのボール出しが悪い点に結びつかず運攻に切りかえる場合が多く、個人技、チームプレーに秀れたと云うより体力を生かし中央からの強引な攻撃ボールに対する執念、シュートしようとする気力は大きい学ぶべき

であろう。防禦は6・0システムを用い、ボールと自分のマークすべき相手を良くみている為、ボールに対する出足が早く、カットされ得点に結びつけていたが、その反面、前の相手に注意している為ポストプレーに弱い様であった。攻撃、防禦共に体力を生かしているが荒い面が多かった様である。現在韓国は軍事態勢にあり国家意識が非常に強い様に思われた。それと国際試合と云う対抗意識、日本に追いつけ追い越せの勝負根性は大変なものであった。

選手リポート

GK・3年 蝶野 秋夫

日韓高校スポーツ交歓会が八月十九日から二十一日までソウル獎忠体育館で開催された。第一試合は、東亜チームと対戦した。東亜は一線防禦のディフェンスを敷きシューターへの詰めが早く、我々チームの武器であるロングシュートが大部分ブロックされ、ポストサイドの攻めも相手チームのディフェンスに押えられ余り成功しなかった。東亜チームは、強引さがあり、ノーステップ、タイミングシュートなどで得点し、我々は、コートも狭く速攻の得点もできず16-4で完敗した。第二試合麻浦チームは、よく動き、バックパス



前列右から、蝶野、曾我部、喜井、吉本、杉山、二列目右から、神野、塩田、土井、城賀本、大谷、加藤の各選手、最後列右端は学校長、左から、千葉監督、一人おいて高橋コーチ、上の写真は矢野選手

をまじえたポストプレー、サイド攻撃などを巧みに使い、我チームは、二段速攻、ポストプレーで応戦し、ディフェンスもガッチリ固め得点されるとすぐ取り返し、最後三分が勝負という試合であったが、七メートルスローが続出しGKの好守もあったが16-14で惜敗した。この経験を今後の為に行かしたい。

FP・2年 城賀本 巧

韓国での第一戦の対戦相手は東亜高校だったが、われわれは旅のつかれの残ったまま第一戦をむかえた。東亜高校は新工より身長もあり体も大きかった。東亜は一練防御でピストン式につめてくるのに対し新工はつかれのせいか動きも鈍く東亜のディフェンスを破れなかったのが16対4と完敗した原因だろうと思う。

第二戦は麻浦高校と対戦したが第一戦の東亜とは対照的で小柄なチームだった。新工は体調も良くなりよく動いたが凡ミスが多く麻浦高校はそれに乗じてよく動いたしかし、麻浦はシュート力おとるためバックパスを通しポストでせめてきた。結局16対14という少し差で新工はおしくも敗れた。

試合場になった奨忠体育館はコートもせまく、またボールは日本のより大きく重く使いなれしていないなかったのも敗戦の大きな原因の一つだろう。

一つだろう。

FP・2年 神野 公明

韓国第一戦目の相手は、東亜高校だった。東亜チームは、新工に比べて身長、体格もだんぜんまさっていた。新工は第一戦とあつてかみんあがっていたのか、動きも悪く、シュートもおさえがなくて浮いてしまつて最低の出来だった。東亜は特にディフェンスが強く新工のシュートをキーパまでとどかさなでブロックして得点をふせていた。新工の悪条件というのはコートがせまくて速攻にでられなかったことで、これが敗北の一つの原因ともいえる。前から先生が言われていたように、ディフェンスのいいチームは必ず強いというのがよくわかった。東亜は強かった。

第二戦は麻浦高校だった。東亜に比べると背も低く、体格も新工と同じようなチームだったが、動きは速かった。第二戦はみんなやるき十分で試合に臨んだが前半ポストプレーを多くやられ、8-4とリードされた。しかし、後半にはいって新工も動きがよくなりロングシュートやポストプレーもよくきまり一点差まで追い詰めたが、最後7メートルをとりれ結局16-14で敗れた。

FP・3年 吉本 文年

ソウルで8月19日から21日まで開かれた。ぼくたち新工ハンドボール部は、19日、東亜高校と対戦した。会場は、奨忠体育館で、バスケットコートよりすこし広い、長さ約30mほどのせまい場所だった。1試合目、相手のディフェンスがうまいせいか、全然点を入れることができなくて、完敗した。だから2試合目は、どうしても名誉ぼん回しなくはないけなと反省した。21日、第一位の麻浦高校と対戦した。あまり背が高くないので、ロングシュートがきまり、ロングシュートとポストプレーで、点を重ねたが、7メートルを多くとられ16-14でおしくも敗れた。この試合は、審判員が正式にとってくれたら、勝っていたかもしれないと思った。だが、そのことはどうあれこの試合にぼくたちは、全力でプレーし、相手プレーヤー達とも親しく交歓できたので後に、悔はなかった。

FP・3年 曾我部和夫

8月19日韓国東亜高等学校と対戦。長身で、守備力のある東亜チームは、セットプレーで攻撃をしてきた。

我々は、守備力のある東亜チームに対し、速攻をかけなければならなかった。しかし30メートルにはもはや無用であった。外国初

国際試合であるためか固さが後半になってもとけず、九千人余りの大観衆に我々の力が、飲み込まれてしまっていたようだ。

第二回戦は、麻浦高等学校と対戦。

麻浦チームは、我々によく似たチームだった彼らは、ポストを中心としたブロックプレー、スカイプレーを多く使っていた。

我々は、前半固さがあったが、後半残り五分頃再度にわたり一点差まで追い込んだが、7 M スローを、立て続けた三本取られ、敗れた。

韓国両チーム共バックスが強かった。

FP・3年 杉山日出夫

8月19日の対東亜戦では、かなりの身長差があり、喜井のロングシュートが大部分バックにブロックされ得点出来なかった。ロングが決まらないので速攻に勝負をかけたがコートが30 M なのになかなか速攻が出ず得点のチャンスがなかった。このチームはディフェンス力は強く特にロングシューターに対してのつめがうまかった。しかし攻撃力は余りなく特に脚力は僕達の方が上であつたと思うコートが正式ならもっと得点出来たらう。

二試合目は麻浦高校このチームは僕達とよく似た速攻を主とした

小柄なチームだった。両チーム共コートが狭いので速攻が出ずセットプレーで試合が展開され、後半やや押しきみで再度一点差に持ち込んだが、終了五分前頃から立て続けに7 M スローを三本取られた前後半通じて五本の7 M スローが原因となった。韓国のディフェンスは45度のピストンで非常に強かった。

FP・3年喜井 美雄

18日昼ごろソウルの金浦空港に着いた。ソウルは30度前後はあつたが、空気が乾燥していたのであまり暑い感じはなく、夜は寒いぐらいであった。食べものには何にでもニンニクが入っていたので初めは食べにくかった。19日朝、煥忠体育館で開会式があり、午後から第一試合があった。相手は韓国二位の東亜高校であったが、とにかく体格の良いには驚いた。攻撃ではサイドからの空間プレーは、よくジャンプコントロールもよ

かった。この試合は完敗であった次の日は夕方、親善の夕べがあり韓国選手と食事をしたり、ゲームをしたりして楽しく過ぎた。21日は一位の麻浦と戦ったが、体格は私達と同じぐらいであるが動きが速く特にポストプレーがうまくパスをするとき全部バックパスを使っていた。この試合は惜敗した。国は異なり言葉も通じないがスポ

ーツマンとして互に交歓し、よく理解することができた。(主将)

FP・2年 矢野 充彦

18日の朝、9時ごろ羽田空港を出発して昼ごろ韓国の金浦空港に着いた。その日は、少し練習してそのあとブラブラとしていた。

次の日ソウルの体育館で開会式を、やって、試合が始まった。ぼ

くらの試合は、卓球のあとであった。競技場に入場すると、円形の人が入っていた。やがて、ペナントを交換して試合がはじまった。

すると、韓国が得点するものすごい拍手の雨が降った。そのためか、ぼくらは、あまり動きが良くなくて、コートも短いせいもあるたので、第一試合は完敗した。次の試合は、21日の夕方行なったが、おしくも負けた。2試合目は、もうすこし勝てたのだが、やはり地元の特で、まけた。

第一試合は、あまりよくやくしかなかったが、第二試合は、とても、くやしかった。こんな大観衆の中の試合は初めてだが、これを生かして、これかまらもがんばってきたいと思つた。

FP・2年 加藤 和彦

韓国での第一戦は、韓国に着いた次の日、疲れも残っていたし

日韓高校の成績

- ▼第1回(昭37.8 全日本高校訪韓)
 - 22-9 東星
 - 17-8 麻浦
 - 16-6 養成 (11人制)
 - 18-8 大倫 (11人制)
 - 14-7 成 (11人制)
 - ▽7-7 五山 (11人制)
- ▼第2回(昭38.11 韓国高校選抜来日)
 - 明星(東京) ○19-11
 - 茨城選抜 ●18-38
 - 名古屋選抜 ●19-24
 - 兵庫選抜 ●19-22
 - 大阪選抜 ●17-23
 - 大福選抜 ●20-37
- ▼第3回(昭43.8 下関中央工訪韓)
 - 18-16 朝鮮大附属
 - 12-16 大倫
- ▼第4回(昭44.8 朝鮮大附属来日)
 - 中 大 附 (東京) ●7-11
 - 下関中央工 (山口) △8-8
- ▼第5回(昭45.8 新居浜工訪韓)
 - 4-16 東亜
 - 14-16 麻浦

FP・2年 大谷 公重

ハンドボールコートも10メートル余り足らず、ボールも比較的重かった。試合内容はあまり良くなかった。第一戦の対戦校は、東亜高で、背も一まわりぐらい我々より大きかった。東亜高は、一線防衛で、ピストンのようなつめ方をしてきた。そのつめが早く、しかも、新工は疲れが残っていたため、動きが鈍くて、バックが弱くなっていた。こうしたことが、大

差で敗れた原因だと思つた。

第二戦は、背も低く、シュート力もあまりない麻浦ではあったがバックパスを通され、ミスしたボールを速攻で決められたし、新工得意の速攻が、コートが狭いため決まらなかつた。しかし、味方のロングシュートが、決まり、面白い試合運びとなつたが、最後の7 M スローで、敗戦試合となつた。

全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技で優勝して、韓国に行くことになった。そして、8月18日に羽田空港を出発して、その日、金浦空港についた。そしてすぐ韓国の代表の人達のお話を聞いて、ぼく達が、5日間宿泊することになった。こうしたことが、大

韓国のチームの人達とも、親しくなつて楽しかった。この韓国遠征は、ぼくに於いて、一生の思い出になることだろう。

FP・1年 土井 利彦

8月18日、不安と喜びを胸に日本を後にした。それから四日間、韓国にいたわけだ。

翌日、盛大な開会式が行なわれた。後、韓国での一戦が行なわれた。しかしその結果むなしくも敗れた。がその試合にいかりを感じた。それは審判に対してのいかりでした。「日韓親全のための試合でもそれは形だけのものなのか」と思いました。

一日がすぎよいよ第二戦目も敗れてしまいました。しかしこの試合も敗れてしまいました。

閉会式の数時間前、第一戦目のチームと公園で仲よく話したりしました。試合の時すごくにくく思いましたが、いっしょにいるとそんな思いが消えていきました。バスケットボール女子の試合を最後に日韓親善試合の終わりを仕上げたのでした。

翌日、韓国最後の一日を観光と買い物ですごしました。買い物をしていて、店のおばさんがいらっしやいませといった時びっくりしました。日本語をじょうずに使うからでした。

最後にいちばん苦しめられたの

は食事でした。ニンニク、とうがらがブンブンにおつたからです。それとバスを町を見ているとニンニクのおいぐさかったことでした。特に感じたことだけども、道路や車はよくなりましたが人間じたいがかわれに思われまし

た。その夜韓国を後にしました。

GK・2年 塩田 正信

韓国という所は、どんな所だろうか、そんな疑問をいだいて行った。始めは、日本とたいして変わらないように思ったが、その考えは甘かった。少し郊外へ出ると、もう後進国という感じがした。それに特有の、にんにくのにおいで、

第五回女子世界選手権はオランダで

71年12月

9月18・19の両日、スペイン・マドリッドで開かれた国際ハンドボール連盟（IHF）の総会に出席し、9月28日に帰国した渡辺和美副会長は第五回女子7人制ハンドボール世界選手権大会は、1971年12月10日から20日にかけてオランダで開催されることにIHF総会で決定したと語った。

詳細な日時、どのような形で大会が開催されるかは未定だが、会場探しが難行したこの大会もこれで開催が正式決定した。

四日間、苦しんだ。早く日本へ帰りたいと着いた日から思っていた試合は、相手はやはり国のためにやるんだという気迫が感じられた。しかし、コートの長さや、審判の判定に疑問点が多かった。二試合とも敗れたが、精一ぱい

住友化学菊本、韓国へ実連が初の交流

全日本実連は今秋11月に住友化学菊本（愛媛）を韓国へ派遣、実業団（社人）による初の日韓交流を行うことになったと発表された。試合数、対戦相手、遠征メンバーなどは10月中旬に決まる。

日韓交流はこれまで大学、高校

田村会長の地元である四日市で開催される本大会には中学指導者講習会や中華民国の来日などがあつたが、何よりも全国から集る顔なじみの選手のプレーに接することの出来るのを楽しみに出掛けたら笛を吹くことになった。私の興味は技術的な面ではなくこの大会の雰囲気である。先生方が良くゲームを楽しんでいたことが嬉しかった。選手中の最年長である滋賀の寺村選手は数日前のインターハイ開催の疲れも見せず若々しいプレーをしていたし、往年の名選手が新卒の若い先生と一緒に日頃指導者として精進しているせいかダ

やったので悔いはなかった。後で相手チームと、ボールの交換をしたり、話をしたりした。話といつても、かんたんな英語や、手まねだけだ。もっと韓国の言葉を、勉強していたらよかつたのにと、つくづく感じた。

（いずれも男子）が毎年、定期戦“的”に行っているが、実業団（社人）については、学生が中心。主力の韓国球界の現状からみてあと二三年は難しいといわれているものである。それがこうも早く実現したのは、韓国協会のあらゆる分野で両国ハンドボール界が手

全日本教職員選手権を見て

由利 弘

ブルヘッダーにもめげずプレーに打込んでいたのはさすがであった予選なしの全国大会なので大差の出るゲームもあつたが、年一回出て来て努力する先生方のこの大会懸命プレーをしているのを観るとその努力に対して頭の下る思いをするのは私だけではないと思うが連盟も何んとか方法を講じて表彰したら良いと思うが……。

最後に指導者の全日本大会なのに14名のメンバーを提出したり、ユニホームが不整いであつたり、出場申込をしながら棄権チームがあつたのを残念に思つた。（全日本教職員連盟常任理事、大会審判員）

■講談社スポーツシリーズ———連続写真で解説するスポーツ入門書決定版

少年チームから一流選手まで

八重樫茂生

サッカー

メキシコオリンピック代表チームの主将が書いたクラマー方式によるサッカーのすべて B5変型判・本文200頁・口絵カラー4頁 定価590円

ワールドカップのスターたち

構成・牛木素吉郎 写真・岸本 健

サッカー 世界のプレー

世界最高のプレーヤーの技術と戦術の解説 B5変型判・本文200頁・口絵カラー16頁 定価780円

みんな一流プレーヤーになろう

年代別トレーニング法を解説したクラマーサッカーのすべて

クラマー著 村岡博人訳

クラマーのサッカー上達法

B5変型判・本文200頁・口絵カラー8頁 予価680円

ジュニアから一流選手まで

石黒 修 写真・川延栄一

テニス

日本テニス界の第一人者が、連続写真によって解説する近代テニスの精髓 B5変型判・本文200頁・口絵カラー8頁 定価620円

ジュニアから一流選手まで

中尾和三 石川英機

軟式テニス

日本軟庭界現役のトッププレーヤーが300万愛好者における上達の手引き B5変型判・本文180頁・口絵カラー8頁 定価680円

スピードあるプレーをしよう

糸山隆司 若林 薫

バスケットボール

日本最強チーム鋼管コーチの語るバスケットボールの技術と戦法 B5変型判・本文200頁・口絵カラー4頁 予価680円

考えたプレーをしよう

竹野奉昭

ハンドボール

ハンドボールの技術を連続写真で解説。中・高校生に見てわかりやすい指導書 B5変型判・本文200頁・口絵カラー4頁 予価680円

ダイナミックに滑ろう

植木 毅

スキー

植木毅の卓越したスキー技術を、連続写真で解説した評判の書 B5変型判・本文200頁・口絵カラー4頁 定価680円

強く美しくなるための体力づくり

体育指導者の第一人者が20余年にわたる体験をもとに書きおろしたあらゆるスポーツマンのバイブル

窪田 登

ウェイトトレーニング

B5変型判・本文240頁・写真多数 定価750円

長距離・駅伝からマラソンまで

高橋 進 西田勝雄

マラソン

世界に誇る名コーチの豊富な指導体験と研究に基づく世界に類のない名著 B5変型判・本文336頁・写真多数 定価980円

一流選手をめざすために

大谷吉五郎 丹羽悟郎 立石義晃ほか

陸上競技入門

一流選手をめざすアスリートにおける技術・トレーニングの決定版 B5変型判・本文240頁・写真多数 予価700円

●図説事典シリーズ

図説器械体操事典

浜田靖一／竹本正男／河野 昭著 3,800円

図説バレーボール事典

前田 豊／松平康隆／豊田 博著 2,900円

図説バスケットボール事典

牧山圭秀／吉井四郎／畑 竜雄著 4,800円

図説剣道事典(近刊)

中野八十二／坪井三郎著 予価 4,000円

●体力づくりシリーズ

学校での体力づくり

1,500円

加藤橋夫／猪飼道夫／石河利寛／野沢要助ほか著

小学校での体力づくり

石河利寛／池田猪佐巳著 1,800円

増補中学校での体力づくり

石河利寛／長沼 誠著 1,600円

高等学校での体力づくり

猪飼道夫／坂井田逸治ほか編 2,400円

世界女子代表、年内に発表か

技術指導部で決定

技術指導部は9月17、18日の両日東京で初の総会を開き、今後の活動方針などについて協議した。沖繩協会から初の本部委員となった大城光隆氏をはじめ本部、各ブロック、各加盟団体から推せんされた25委員のうち17委員が出席熱心な討論が行われた。

その結果、来年12月オランダで予定される第5回世界女子7人制選手権の全日本代表については、単独チーム中心の編成をやめ、男子同ようナショナルチームをつくり出場することとし、その選手選考を年内に行うという注目すべき決定をみた。

女子の世界選手権は前回(昭43)が欧州の政治情勢が理由で流会となり、来年6年ぶりに開催されるが、すでに日本協会では5月の月例常務理事会で同大会への参加を申し合わせ、代表選手の選考などについて技術指導部の担当として同部の意向に注目集っていたものである。

4回の強化合宿が行われよう。選考委員は10月10日の全国理事会で発表されるが、すでに勝部長ら本部推せん技術指導部員は勝部長全日本総合選手権を選考の一対象として「視察」しており、選考委員へ資料を提出にす予定。このほか岩手国体(10月)、全日本学生(11月)、全日本選抜(12月)の3大会が選考対象となる。男子の世界選手権代表決定までには第一次48、第二次17名(44年6月・欧州遠征)、第三次14名(世界選手権代表)としぼっていったが、今回は大会が間近かに迫っていることや、選にもれた選手の取り扱いが女子の場合難しい問題を生むなどあって、いきなり晴れの代表を選こうし発表しようというもので、10月10日の全国理事会で最終的な協議が行われる。

技術指導委員はほ揃う

技術指導部は今後の活動をより広く深いものにするため本部選出委員のほか専門委員の推せんを各ブロック、各加盟団体に依頼していたが、このほど2名を残してメンバーが出揃ったため、その名簿を発表、前掲のように東京で初の総会(11詳報次号)を開いた。【ブロック推せん委員】吉沢正登

大同製鋼、名城大が

沖繩に遠征

大同製鋼(愛知)チーム一行13人は9月7日から13日までの一週間初の沖繩遠征を行い、強化合宿のかたわら地元チームと親善試合を交えた。また地元の要望で野田藤中面オリンピック候補選手などによる技術指導会も開いた。

東海学生の優勝校・名城大チーム(愛知)は、同大学沖繩支部結成10周年を記念して7月22日から27日まで那覇市に遠征、地元チームと3試合を行った。名城大29-11沖繩教員選抜、名城大27-13琉球大、名城大29-14琉球大。(元全日本学連)

ソビエト女子の

来日不可能

来年の交流を断念
日本協会は来年に予定したソビエト女子ナショナルチームとの国際試合を断念することになった。

9月18日に受けたソビエト協会からの連絡によると、すでに同チームは来年度のはとんどの日程を決めており、日本の招待に応じられないという。日本協会は9月26日の月例常務理事会でこの企画を白紙にもどし他日を期すことにした。

ソビエト女子の招待は、男子に代えてかねてから日本協会がソビエト協会へ打診していたもの。

酒井賢治氏

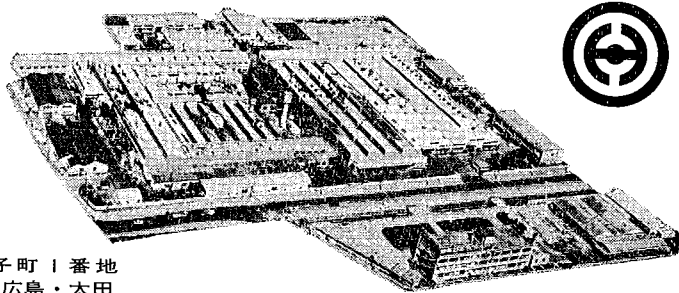
関東学連理事、早大部長

午後4時脳出血のため亡くなられた70才。告別式は9月2日東京でしめやかに行われ、日本協会、学連、早大関係者が多数参列した。

酒井氏は昭和13年早大ハンドボール部が発足すると同時に部長に就任、今春早大を退官されるまで実に32年間にわたってつとめられた。伝統を誇る学生界にあってもしっかりとまなまなことで早大OBはもとより関東学生界各校も酒井氏の情熱に深い感銘を覚えていた。この間全日本学連、関東学生理事にいくたびも推され、学生ハンドボール界の発展に多大な功績を残されている。

NHK SPRING

日本発条



本社/横浜市磯子区新磯子町1番地
支店/東京・大阪・名古屋・広島・太田

クラブ・中学生対策を探る……

クラブ（一般）と中学生対策は斯界の
かかえる大課題だ。
日本協会でも5年来の懸案で10月の全
国評議員会や理事会でも当然議題とな
るが早急に解決は難しいという。
今夏、東海で初の両ブロック大会が行
われるなど前途はわずかに開かれつつ
あるが、その問題点を改めて探ってみ
た。
（編集部）

一般クラブ対策

いわゆる社会人によるクラブは
斯界の底辺の一角を支えるものと
して大きな存在である。

にもかかわらず、クラブは年々
後退、減少の一途をたどっている
理由はいくつかある——実業団
球界の拡充で企業体チームと差が
開く一方なこと、レジャーブーム
さらには人口の都市集中化もその
一因として考えられぬことはない
日本協会にとってもクラブの数が
減ることは財政面にも影響を及ぼ
し深刻な問題だ。しかし、学生、
教職員あるいは実業団のように全
国的なタテの組織をつくることは
なかなか難しく、勝負を競うより

競技を楽しむ境地のチームが多
いだけに全国大会を開けば難問が
解決するというものでもない。結
局は、「底辺問題は底辺で……」と
各都道府県協会に一任したまま時
日を経過して来た。

各都道府県協会も問題の大きさ
を十分に承知しており、クラブリ
ীগや、一般大会のなかでクラブ
部門を独立させるなど苦心を払い
愛知協会のように県内2地区に別
々のクラブリーグが充足したよう
なところもある。

問題はここである。県単位
の大会を土台にしてブロック、全
国大会へ伸展させるかどうか。
こうした折、東海協会が8月23
日、初のブロック・クラブ選手権
を開いたのは大いに注目される。

もちろん全国でも初の試みで東
海4県から男子16、女子6（棄権
1）が名古屋の愛知県体育館に集
った。

愛知は前記の県内クラブリーグ
から代表が選出され、岐阜も同じ
ケース。静岡は予選大会を行い、
三重は推せんによってそれぞれ出
場資格を決めたようだが、ハンド
ボール王国を自他ともに許す東
海協会にして初めて出来た大会と
いうのが、もつぱらの評判である
選手の参加資格は、大学生（除
く大学院）高校生は一切認めず、
実業団連盟登録選手は暫定的に一
クラブ2名に限り許可された。男
子はほとんどのクラブが15名をフ
ルエントリーしている。

男子は4チームづつ4組に分か
れて予選ラウンドを行い第3回世
界選手権代表の金田のほか奥本、
和保、松浦、林、吉田、杉本ら関
西、東海学生界で活躍したOBに
よる鯨ク（愛知）新、山田、吉金
と元世界選手権代表3人を擁すフ
アンシー（岐阜）名城大OB主力
の名城ク（愛知）ベテラン揃いの
清見瀧ク（静岡）の4チームが11
月1日名古屋市体育館で行われる
決勝トーナメントに勝ち残り、女
子では名門・静岡城北クと田村紡
OGのなつかしい顔が並んだ四日
市ク（三重）が決勝へ勝ち進んで
いる。

る声は想像以上に大きく、今後に
楽しみを残しているが、全国大会
については同大会を切りまわした
太田耕治競技委員長（名大OB）
も「底辺がしっかりした段階で開
くべきだろう。下部からの盛りあ
がりがあれば全国大会は無意味
だ」と慎重である。

やはり、ブロック大会が根を下
るさねば全国大会は難しいとい
うことなのだろうか。
今のところ東海につづくのは来
年8月に第1回を予定する関東だ
けのようで、全ブロックが出揃う
のは早くても昭和48年度になるの
ではないか。

クラブチームの中には「国体を
クラブのために解放すべきだ」と
いう意見がある。

クラブのおかれていた条件から
すれば、県から遠征補助金が出る
国体はありがたい。実業団をしめ
出せば国体がクラブの全国大会の
代りにもなる、というのだ。

クラブにとって国体はたしかに
唯一の活きる道かも知れない。
北陸の名門・氷見ク（富山）は
今年から全日本総合出場よりも国
体を目標に切りかえそれを果たした
三菱鉛筆が解消した神奈川の一
般女子界は二つのOGクラブが復
活したという。

だが、日本協会のある理事は「
国体をクラブのものとするのは理
想だ。しかし各都道府県が得点を

トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン・コロナ・ピックアップ・ライトバン製作



セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号

TEL 相模原 (0427) 72-6111 (大代表)

加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM

争っている現行のシステムでは、強いチームの輩出によって、その県におけるその競技の普及度、認識度が高まることになる。上昇途上のハンドボール界では、理想「だからといってすぐには踏み切れない」と苦しい立場を説明している。

結論を導き出せぬままのところへ、今春4月の全国評議員・理事合同会議で来年度から全日本総合選手権の出場チームを男女ともすべて日本協会推せんとし、いわゆるクラブ(社会人)部門から男子2、女子1を推すことが決まった。

この決定でにわかに、クラブの全国大会開催機運が高まるとみて日本協会でもその具体策を検討。9月には総務企画部が「全国クラブ大会案」を、普及部が「全国選抜クラブ大会案」をまとめるまでにこぎつけたのだが、両案ともに常務理事会以前の段階で早くも暗礁にのりあげてしまった。

というのも強力実業団を持たずその影響を受けていない地域の関心がうすいことや、「全国大会まで開く必要はあるまい」といった考えが意外に根強いからだ。

このため、来年度の全日本総合へのクラブ部門の推せんは、第26回国体(46年10月・和歌山県打田町)に出場したクラブチームのなかから選び出すことに落ち着きそう、47年度以降については改め

て検討しなおされるだろう。クラブの減退で財源をおびやかされるながらも、特効薬を早急に見つけ出すことは難しそうだ。一部に、全日本実業団連盟を発展的に解消、新たに全日本社会人連盟(仮称)を組織して同連盟内に実業団部門とクラブ部門を設けたらといった意見もある。

日本協会ではとりあえずクラブのブロック大会には「日本協会杯」(持ち廻り)を贈り、クラブ——日本協会のつながりを保とうとしているが、よい反響のあることが期待される。

中学生対策

中学生(校)をふくめた年少者対策については、全国からの資料をもとに本誌第72号にかなり詳しく特集された。

文部次官通達の緩和によって今夏、サッカー、バレーボール、軟式テニス、体操などが少年少女あるいは中学生の全国大会を実施、各競技ともそれなりの成果をあげたようだ。

ハンドボール界はこれらの成功を横目で見ていたわけだが、卒直にいて中学校ハンドボールにしても、ハンドボール少年団にしてもし界はまだまだ全国大会を開ける下地が整えられていない。

全国大会を開けば、それに刺激

されて底辺が築かれるだろうという積極論もあるが、現状を知らればかなりの強硬意見でしかない。

例えば、全日本高校選手権をはじめ昭和25年度に高校ハンドボールは、38都道府県で実施されていた。現在、中学校ハンドボールが行われているのは28都道府県にしかすぎぬ(本誌調べ)。

しかも社会条件がよくなったとはいえるものの高校に比べ中学生の全国大会開催には多くの課題がある。

すでに20年近い中学球界の実績をつみ、年少者対策について献身的な努力をされている愛知協会の西川勤也常任理事は、今夏宿願の東海中学大会を開いたが「全国大会を開くとすれば最大の課題は交通費、宿泊費それに傷害問題だ」といっている。

東海大会(8月24日・名古屋)は一日だけの日程で宿泊費はかかるなかったが、交通費は各県とも一部を協会が負担、そのほか各県協会が二千元づつを出しあって一人十万人の傷害保険金のカケ金をこしらえた。

これが全国大会ともなれば、一部負担といっても二〜三百万円の予算が必要(日本協会総務企画部の話)であり、頂点強化に重点をおく斯界としては、その工面が難しくそう。

中学生のブロック大会は、近畿

がその総合体育大会の一種目として19年前から実施しているだけ、今年になって東海、北陸三県(福井、石川、福井)8月17日・金沢)が初めて手をつけたものである。その他の地域は「構想はあるがまず各県に一枚でも多く実施してもらおうことが先決」だとしており全国大会は先の話といったムードが濃い。

東海、近畿にしてもこの問題について正式な話し合いを行ったことはないようで、西川氏も「開催地が東京か大阪ならば出やすいのではないか」という程度。北陸3県でも「全国大会の開催に反対はしないが、まずブロック大会を地固めさせたい。今年の経験から希望は大いにもてる」と今すぐ全国大会を、の声はない。

日本協会ではクラブ問題同よう来年度はまずブロック大会を促進させるように近く関係者に働きかけることにしているが、47年度からの「中学校指導要領」への復活がどう作用するか。また、小学校への普及も一つのカギであろう。

中学球界の確立は、指導者の養成が不可欠の条件であることも忘れてはなるまい。

大会成績

▼第1回東海地区中学大会(8月24日・名古屋)

▽男子1回戦(2試合)
前津(愛知・名古屋市) 5-6
吉原三(静岡・富士市) 12-6

▽同決勝
三谷 10-8
12-6

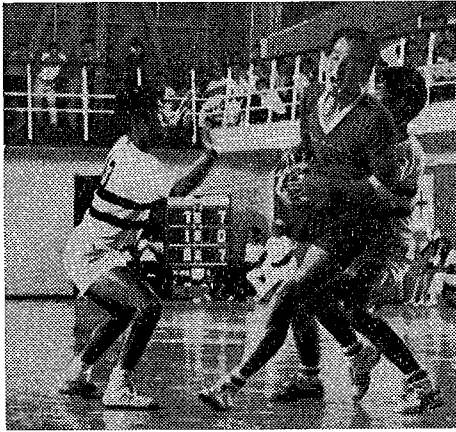
▽女子1回戦(2試合)
南宮部(愛知・岐阜市) 6-5
清水女(静岡・清水市) 8-1

▽同3位決定戦
清水女 13-14
清水女 5-6

▽決勝
中納 8-3
中納 5-3
中納 6-6

▼第1回北陸三県中学校選手権(8月17日・金沢) 男子のみ
水見南(富山) 5-2
水見南(富山) 7-13
水見南(富山) 13-10

▼第1回東海地区中学大会(8月24日・名古屋)
甲陽 10-7
甲陽 7-4
紫錦台 10-6
紫錦台 10-6



ハンドボール理念に反するプレーが最近は多すぎる…

ハンドボールの競技技術は再三の海外遠征、或いは国際交流により毎年著しい進歩をとりつつあることは誰もが認める所であるが、これにくらべてゲームの管理者であり進行係である審判員の技術は未だに数歩をへだてているの感を持つのは私だけではない。この点について思うところを記してみたい。

確かに日本のハンドボール技術は日進月歩の発達を示しつつあるが、その内容を考えるとき、明らかにそれは攻撃術の面に偏った傾向がある。日本人の持つ民族的特性として「粘り強さの不足」は防壁観念の不徹底という点で今まで度々指摘されて来た。これは中学校高校以来の練習形態、特に導入の時期において常に「キャッチボール」と「シュート技術」によって

はじめられるのが普通の過程であり、かつまた短時間短時日に多くることを習得するためにやむをえず総花主義的な内容に陥らざるをえぬこととなり、卑近な例をあげれば、全国高校大会一位が韓国の高校に勝てないという現実となつて答がはねかえってくることを毎年のように思い知らされるのである。

痛感すること

光 島 磯 雄

が実際の試合において他の原因ともかきなり大きなブレーキとなつていえる。昨今の大会での各チームのゲーム態度をみると多分にハンドゲームとラフゲームの混同がいたるところに

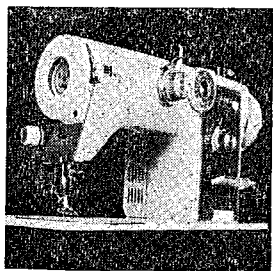
みられるのは真に残念なことである。ここで審判員の役割がいよいよ重大となるわけであるが現在のブロック推せんの人達で全国的大会を運営するという行き方では明らかに、高校大会、教職員大会、全日総合、国体と続く各種の大会がそれぞれ稽古台(トレーニング場

への努力に比べ審判員諸氏の努力はそれに恥じぬものがあるかどうか。連日炎暑烈風に耐え身心共に大きな犠牲をはらい大会に出場し一点一秒を争う白熱ゲームのさなかにおける審判員のミスがどれほど選手にショックをあたえるか考えたことがあるであろうか。避けられるミスとそうでないミスについての区別などは選手の方が良く知っているのである。この避けられるミスをおかす審判員の「全国的大会にお

ける審判経験取得」のためにタタキ台にされることを悲哀でなく何であるか。先日日和歌山でのゲームにおいてもユニフォームを胸からむぎんに破られたり首筋や肌にもミズバネをいくつもつけられた選手をみたがここにも現在の審判術の未熟さがうかがわれる。現行のルールでは「警告」は個人に対して段階系列に従って適用され退場処分及びぶが、これをさえも生きるためにはすなわち勝つためには悪用するチームも出て来ようというもの。この段階系列に従つてという語句がくせものでこれにとらわれるために選手もこれに対応したプレーを考案せざるをえぬという破目にはちいたる。審判員はすべからずハンドボールの理念に反する言動に対しては断乎としてためらうことなく処置をとってもらいたいのである。両腕で羽がいじめにして阻止する行為のいかに多いことか、又進行する相手に対して足を出すなど。直言すれば無警告で退場にするのが一番の早道なのである。「蛮勇的レフリー」の皆無なのがなげかわしい。ルールブックを形骸化しているのは誰か。

審判改善のための今後の課題として要望したいことは、全国的大会の審判員は協会の責任で実力第一に選出委嘱してその年度における分担当を明らかにし、最高のコン

ディションを保持して任にあたることの出来るような配慮をのぞみたい。今のやり方では単に経験取得を通じて上級昇格の材料となるのみで、玉はみがかずとも光輝を發するに反し、砂利石はいつまでもそれ以上のものではありえない現状を続けることは確実である。特に地方では全く笛を吹かぬ人が大会でその任にあたるという事実があるとするれば選手に対してこれ以上の非礼はありえず、到底納得出来ることではないのである。審判員の資質向上にしても種々考えられて居るが新たに考課表のようなものを制定して責任ある評定を下せる機構を強化すべきである。又、短距離走、敏捷性、視力、ハンドボール技能、レポート個人研究等も有効な方法である。年功序列などは問題外とすべきである。



鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髓がある

■ジューキミンは精密工学の結晶とたたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

ジューキ

 東京重機工業株式会社

☆☆☆☆☆☆☆☆
海外トピックス

強茂 本山 藤杉

ソ連・西ドイツが優勝
—世界選手権をリーグ戦と
してみる—

第7回世界選手権大会もルーマニアの優勝でおわったが、本誌にもすでに触れたように大会方式の再検討を迫る声が、ヨーロッパには拡がっている。

この大会方式はIHFの世界選手権規定によっているのであるがこの規定は現実にはそぐわないとしている。IHFの総会でも種々の意見が出た。

この大会方式の再検討を迫る声の裏には、一度の試合の連、不運が現在のままでいかにも重くひびきすぎるといふ所からでている

ドイツ連邦共和国の「週刊ハンドボール」でもこの問題を大きくとりあげている。

それにはこの大会を通じて、ただの一敗しかしていないドイツ連

邦共和国が5位、ソ連が9位、しかも延長戦(注、準々決勝で西ドイツは東ドイツに延長戦の末敗れている)がなければ一度も負けていない西ドイツが5位というのはどうみてもおかしいとするものであり、この中には大会方式を検討するとともに自国がいかに良く戦ったかというナショナルリズムが濃厚におっていることは否定できない。

しかしながら、矛盾しているといえ、今回の大会方式確に正當でない面も多い。もっとも、こういう大会方式だからこそ、息を抜いたのだ、対戦相手の問題があるうとの逆の議論もあるが、そういうことには眼をつぶって今回の大会の成績を考えるならば1位のルーマニアの5勝1敗は良いとして2位のドイツ民主主義共和国が4勝2敗(延長戦なしならば3勝1敗2分)、3位ユーゴが3勝2敗1分、4位デンマークが3勝3敗と2~4位までの国々はずべて延長戦なしで考えるならば3勝しかしていない。これは我が国の3勝2敗1分と大して変りないどころがデンマークより我が国は上に行くことになる。

同様に6位スウェーデン3勝3敗、7位チェコ4勝2敗、8位ハンガリー3勝3敗という成績にな

第7回世界選手権総成績

国	勝	敗	分	得点	失点	順位
ルーマニア	5	1	0	94	68	2
東ドイツ	4	2	0	79	73	3
ユーゴ	3	2	1	119	80	4
デンマーク	3	3	0	103	116	5
西ドイツ	5	1	0	88	81	6
スウェーデン	3	3	0	69	68	7
チェコ	4	2	0	106	77	8
ハンガリー	3	3	0	95	84	9
ソ連	5	1	0	105	73	10
日本	3	2	1	101	111	11
アイスランド	2	4	0	96	112	12
フランス	1	5	0	79	105	13
スイス	0	3	0	29	48	14
ポーランド	0	3	0	43	59	15
ノルウェー	0	3	0	23	28	16
アメリカ	0	3	0	32	78	17

(延長戦なし)

国	勝	敗	分	得点	失点	順位
ルーマニア	4	1	1	91	66	3
東ドイツ	3	1	2	75	69	4
ユーゴ	3	2	1	119	80	5
デンマーク	3	3	0	103	116	6
西ドイツ	5	3	0	87	79	7
スウェーデン	3	3	0	69	68	8
チェコ	3	4	0	106	77	9
ハンガリー	3	3	0	95	84	10
ソ連	5	1	0	105	73	11
日本	3	2	1	101	111	12
アイスランド	2	4	0	96	112	13
フランス	1	5	0	79	105	14
スイス	0	3	0	29	48	15
ポーランド	0	3	0	43	59	16
ノルウェー	0	3	0	23	28	17
アメリカ	0	3	0	32	78	18

順位はリーグ戦として見た場合のもの

勝1敗、日本の3勝2敗1分、アイスランドの2勝4敗、フランスの1勝5敗と続くことになる。

ここでやはり大きな矛盾として浮びあがってくるのは、ベストエイト入りを逃したソ連と日本の問題が一つ、準々決勝で敗れた西ドイツとチェコの問題であろう。

更に問題を複雑にしているのは、予選リーグで2位の国々がすべてベストフォア入りをしたことである。一つの試合を捨てるといふことは、現実の大会で好コンディションで上位を望もうとするものにとつては、必要悪かもしれないがスポーツの原則であるフェア・プレーの精神からいっただら、正にとんでもないことである。

こういふことから大会方式の改善を望むのは邪道かもしれないが、大会方式を改善することによって、こうした混乱を防げるならそれをすることにしよう。

結局、問題点として浮かびあがるのは予選リーグで上位2チームを選ぶこと、ここに問題はしぼられよう。しかし、IHFでの総会では、もっぱら上位8チームの順位を決めることに焦点がしぼられていた。結局結論としては、予選、準決勝リーグ方式におちついたが予選で上位2チームをいかにして選ぶかの問題はそのまま残されている。

日本ハンドボール協会公認



ゴールドスター
ハンドボール
シューズ



岡山釣鐘工業株式会社 東京

女子で東独の快調づく

ザグレブ杯(前号既報)につづいてユーゴ協会はこのほど女子国際リーグを行った。結果は東ドイツ(A)がこの大会でも安定した攻守で予選リーグ、決勝を勝ち進み優勝を遂げた。

▽3位決定戦

チェコスロバキア 14-9 デンマーク

▽決勝

東ドイツA 9-6 ユーゴ

世界の競技人口は214万

国際ハンドボール連盟(IHF)はこのほど一九七〇年九月現在の加盟国競技人口を発表した。これは3年に一度調査されるもので、今回の報告によると世界のハンドボール競技人口は約百五十六千人(男女計)、ジュニア(男女)の約百八万人を加えるとその総人口は約二百十四万人ということになる。

6年前の発表(本誌第19号参照)

によると総計百五十四万人で、約六十万人の増加といえる。チーム総数は約十萬五千(このうち五万五千がジュニア)6年前の数字は約八万八千。今回の発表には韓国、シリアなど数ヶ国と一部の国は学生競技者の数字を含んでいないため、総計

注目されるのはジュニアの急激な増加。

年少層対策がゆきとどいているスペイン、オランダ、イタリアがジュニア部門で各国と肩を並べている

男子競技者数	
ソビエト	349000
西ドイツ	195000
フランス	50239
東ドイツ	47000
日本	45000
ユーゴスラヴィア	27490
デンマーク	26400
スウェーデン	24552
イスラエル	17500
ハンガリー	13565
世界計	871585

女子競技者数	
西ドイツ	40000
ソビエト	21000
東ドイツ	15000
フランス	15000
日本	14392
ユーゴスラヴィア	12105
デンマーク	11200
スウェーデン	11185
イスラエル	11000
ハンガリー	8536
世界計	194550

男子チーム数	
西ドイツ	12361
ソビエト	8580
東ドイツ	2360
フランス	2056
日本	1780
ユーゴスラヴィア	1500
デンマーク	1152
スウェーデン	1080
イスラエル	1000
ハンガリー	850
世界計	37349

女子チーム数	
西ドイツ	3226
ソビエト	1400
東ドイツ	1000
フランス	1020
日本	979
ユーゴスラヴィア	957
デンマーク	740
スウェーデン	550
イスラエル	512
ハンガリー	500
世界計	12308

ジュニアチーム数(男女計)	
西ドイツ	17430
ソビエト	10350
フランス	6368
日本	3780
ユーゴスラヴィア	3581
デンマーク	3055
スウェーデン	1780
イスラエル	1452
ハンガリー	990
チェコスロバキア	850
日本	400
世界計	55891

(ジュニア男女競技者数1080329)

台湾、韓国の交流促進

8月末、韓国協会役員の朴氏が訪台したのをきっかけとして両国の交流が急速に進んだもので、小学校のほか中学校の交歓もなるべく早い時期に実現する予定だ。台湾協会は日本・韓国との関係の話からフィリピン、マレーシア、インドネシアなどでもハンドボールの種が蒔かれはじめているのが判った。なお、台湾は9月のIHF総会でIHF仮加盟国に承認された。

は若干上廻るものとみられるが、いずれにせよ、世界ハンドボール界は着実な「伸び」をみせているといつてよい。注目されるのはジュニアの急激な増加。年少層対策がゆきとどいているスペイン、オランダ、イタリアがジュニア部門で各国と肩を並べているのが目立つ。逆に日本は各部門でベスト・テンに入りながらこの部門だけ17位とふるわない。なお、日本の数字は日本協会が今年度の正式登録者にこだわらず全国の未登録者をも推定した概数を報告したため前号で本誌が報じた「昭和45年度日本協会登録者数」とは食いちがう。

台湾協会宋内堂副理事長から日本協会宮崎常務理事へ届けられた連絡によると台湾小学校チーム(男女)が本年10月に韓国協会の招きで韓国へ遠征することに決まったというところである。また、ホンコン大学でハンドボールに着手する動きがあり、同大学関係者の話からフィリピン、マレーシア、インドネシアなどでもハンドボールの種が蒔かれはじめているのが判った。

関東一円をネットする...ワイドサービスセンター

医薬品全般
高級化粧品

株式会社 日進商会

二つのコーチ会議に出席して

竹野 奉 昭

(オリンピック対策部委員)

ユーゴは楽しさ

一ぱい(写真はそのスナップ)

去る7月12日に日本を出発しユーゴのカトラで行なわれたハンドボールスクールとスウェーデンで行なわれた第二回コーチシンプोजュームに出席してきました。

ユーゴのハンドボールスクールは12回にわたりユーゴ協会の主催で毎年開かれているものであり場所はアドリア海の有名な海水浴場カトラですので、かなりノンビリとしたものでした。

ここには各国からコーチ連が集まり、その多くは婦人同伴で車でやってきて、夏の数日を南の陽光のもと海水浴場で過すという形のハンドボールスクールとはいわが、バカンスの色彩もかなり強くもっている形のもので、午前中二時間半の講義がおわると、長い昼休みがあり、午睡に、水泳に各自が時を過ごし、夕刻にまた講義と実技という内容でした。毎年これに参加しているコーチもかなりありこれらの人々は或いは国際試合であるいはこういった形の会議でよく顔を合している顔なじみが多くふんいきはワキアワイイという言葉がピッタリでした。



トラ杯を争う。互いに好きな道のこととして、自由なプレーを楽しむこともあるという厳しさよりも楽しさが先にたつものでした。

とは云っても、これには、西ドイツのトルカ氏(かつて西ドイツチームが来日した時の監督)、ルーマニアのネデフ氏(一九六八年来日)などの著名なコーチがそれぞれ得意の分野を語り、討論するという形がとられていたので、かなり参考になる事項はありました。またチェコのケーニツヒ、スウェーデンのマトソンなども姿を

見せていました。

この催しはすでに回を重ね、参加者も年々多くなっています。本年の参加者は32名、内ユーゴ以外の国からは、アルジェリア2、オーストリア5、ベルギー2、ブルガリア2、デンマーク4、フランス4、オランダ10、イタリー16、日本2、カメルーン1、コンゴ・キンシャサ4、クエイト1、レバノン5、リビア26、ハンガリー1、東ドイツ1、ノルウェー2、ポランド1、ルーマニア3、西ドイツ38、スペイン14、スウェーデン4、スイス47、アラブ連合4の24ヶ国199人と地元ユーゴから173人が参加しました。近隣の諸国から多数の参加者を見えています。

内容は攻防両面にわたるものも多く、後述のIHFのシンプोजムがハンドボールの理念追求のためにディフェンスを洗練するという大目標を掲げているのとはすこぶる対照的でした。

IHFのシンプोजムはディフェンスのみに終始

続いて、田村紘の鈴木義男氏と終始行動を共にしながら、出席したIHF主催のコーチシンプोजムは厳しいものが一本とおったものでした。8月3日から8日までの日程はギッシリとつまっており

確めてください! MIKASA

HAND BALL

完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性——世界に誇る「ミカサ」の価値ある芸術品です!

日本ハンドボール協会検定球

明星ゴム工業株式会社

広島・東京・大阪・福岡

それこそ各国のトップレベルにある人々が全精力を傾けて、講演しそれを基にして参加者が討論するといふもので、ここではもっぱらディフェンスの洗練に話題が集中し、12の発表があった中で、ルーマニアのクンスト氏のハンドボールの戦術・技術のシステム化とフランスのラコー氏の第7回世界選手権のコンピュータによる分析を除くとすべてディフェンスの問題をとり扱ったものでした。

このシンポジウムには、IHFの会長ハンス・パウマン氏、会計理事マックス・リンケンパーガー氏、スウェーデンからのIHF理事、ポール・ヘーグベルグ氏、競技委員長エミール・ホルル氏をはじめとする競技委員7名全員が出席し、報告者は11人、この他にアルジェリア2、ベルギー1、デンマーク3、西ドイツ2、東ドイツ3、フィンランド2、オランダ2、アイスランド3、イスラエル3、日本2、モロッコ1、ノルウェー2、オーストリア3、ポーランド1、スウェーデン5、ペイン2ソ連1、ハンガリー2、アメリカ1の22ヶ国からの参加を見ました。ユーゴのハンドボールスクールに比べると少人数でしたが、よりつつこんだ討論、内容の濃い話の内容でした。集まっているのは各国のトップレベルの中のトップレベルの人々ばかり、しかもコー

チ専門にやっている人々だけの集りでした。以下に発表者と題名を初拳してみましょう。

ハンドボールシンポジウムの目的と意義、エミール・ホルル（スイス）

第7回男子7人制ハンドボール世界選手権のコンピュータによる分析、ジャン・ピエール・ラコー（フランス）

マン・ツウ・マンディフェンスについてベルナー・ビッグ（西ドイツ）

6：0防衛について、ジャンス・グリンベルガス（ソ連）

5：1防衛についてイリスラフ・ドルネク（ユーゴ）

4：2防衛についてベルント・クッペンベッカー（西ドイツ）

3：2：1防衛についてフラド・ステンツェル（ユーゴ）

複合防衛（マンツウマンとゾーン）についてニコライ・ネデフ（ルーマニア）

現代ハンドボールの様相、特にディフェンスについて、エミール・ホルル

ディフェンス強化のための練習教化方法について、ジャロスラフ・ムラーツ（チェコ）

ディフェンスに於けるキーパーとフィールドプレーヤーの連系について、ローランド・マトソン（スウェーデン）

ハンドボールの攻守戦術・技術のシステム化について、イオン・クンスト（ルーマニア）

以上の概要は次号から本誌に掲載していく予定にしていますが、これらすべてに共通しているのはディフェンスの粗暴化についての危機感が全部の発表に満ち満ちているということです。

これは初めにエミール・ホルル氏が新聞論調（本誌にも概要所収）を引き、このままではハンドボールはすたれる。ディフェンスの粗暴化の最大の原因はルールにあるのではなく、レフェリーにあるのでもなく、まさに、プレーヤーとそれを導くべきコーチにあるとされています。選手がルールを守るといふスポーツにとって最低の基本を守らぬ以上これ以上の発展は望めないし、むしろ衰退があるだけだとし、コーチ、選手をいましています。

そして単に体だけでなく、心もモラルも向上しなければ真のスポーツとは云えないし、人類文化という観点にたってもハンドボールをやるのが無意味になるとしています。ハンドボールは人間の文化の一部を形成するような形にならなければナンセンスだというようなことを述べ、更なる身心モラルの三調子揃った発展を望んでいます。

クンスト氏とラコー氏はある共通性をもっています。クンスト氏はハンドボールのすべてのプレーを数字で現わす形をとろうとしているのです。

またラコー氏はこの二月の世界選手権の予選と1~8位決定戦に至る全記録を一試合14人で記録したデータをコンピュータに入れ種々の分析を試みています。このデータはデータとして、このコンピュータに試合の記録を記憶させておくことは、今後非常に大きな意味をもってきましよう。

現在フランス協会が作りあげたデータからだけでも、世界選手権に出場した選手のクセはかなり詳細に知ることが出来る。ある選手はこの位置から、ゴールのどの隅に投げることが多いかというような質問にも簡単に答えてくれるし逆にディフェンスの穴がどこかというような分析にも使うことができる。今後このような種々の情報をコンピュータに入れ、徹底的な情報収集がなされるであろうことは確かでしょう。

後はいかにディフェンス技術をあげ、戦術を効果的に使うかというところに論題は絞られています。国内でも、種々問題がありますし、国内ではすぐレフェリー云々になりますが、それよりも前にフェアプレーに反することはしないというモラルが確立されることを望むものです。

日本ハンドボール協会検定球

モルテン

亀甲型 ハンドボール

モルテン工業株式会社
広島・東京・大阪



ハンドボールの歩み(第22回)

ルーマニア・東ドイツが好成績

— ヨーロッパ杯の総合成績 —

優勝回数は西ドイツとソ連

—男子— —女子—

ヨーロッパカップ編 ⑫

男子は過去10回の大会に24ヶ国から、数多くのチームが参加し戦っている。その試合の結果を総集すると次頁の表になる。この表は勝ち数の多い順に、云いかえるならば勝ち点の多い順にならんでいる。(第9回大会までの結果)

ルーマニアがダイナモ、スウェーデンなどの活躍で、ドイツ連邦共和国はFAゲッピンゲン、VfLの活躍で、またチェコはデユクラ・プラーグの活躍で多くの勝ち星を挙げている。特にチェコでは、第一回にプラーグ市の選抜が3勝を挙げているので、この都市対抗時代の3勝を除くと、すべて、デユクラの成績ということになる。デンマークは色々のチームが勝ち星をあげている。ドイツ民主共和国も勝ち星は少ないが勝率では抜群の成績を残している。

この勝ち数の上位8ヶ国はすなわち第7回世界選手権のベスト・エイトという形になっているのは偶然であるが、また勝率が50パーセントを越えている国々はドイツ民主主義共和国、ルーマニア……ソ連、スウェーデンに至る9ヶ国で、これは勝ち数上位8ヶ国にソ連を加えた国ということになり、今日のトップレベルの国々になっている。

このことは、クラブ対抗のヨーロッパ杯においても、各国のレベルはずばり出ていることが云える

一発勝負の世界選手権と、国内のリーグを戦い抜いて、二回戦方式で勝ち進むヨーロッパ杯でも同様の成績が残っていることは興味深い。

優勝チームはドイツ連邦が一番多く、4度、ついでルーマニア、チェコの2度。なお、ナショナルチームで、これら上位のチームに次ぐと目される諸国がやはり、ヨーロッパカップの成績でもそれにつぐ成績を残しているのも興味深い事実である。

チーム別に見ると、デユクラの20勝は群をぬいている。先にも触れたようにチェコの勝をこのクラブだけで独走しているのであるから、いかに傑出したチームであるかが判る。

これについてダイナモ・ブカレスト、この両チームはクラブとしてはもっとも名高いチームであるこれについて、二度の優勝でなるFA・ゲッピンゲン、VfLそれにDHFkと古豪チームが続く。

勝率では、ステアウアが傑出している。このチームはこの表では第9回大会に初登場し、そのまま勝ちをさらった記録のみがでている。ここでも勝率5割をこえているのは、ほとんどがベスト・エイトの国々のチームである。

一方女子は、表は作りえなかつたが、ソ連の優位は動かし難い。9回の大会のうえ、4回を快勝



しており、これにつぐのが、ルーマニアの2回である。これとともに1度優勝し、3度決勝に進出しているドイツ民主共和国の強さも忘れてはならない所だ。

・女子8回大会記録(予選)

SZ・オルムス(チェコ)	8 6	ソフィア大(ブルガリア)
C・クラコ(ポーランド)	2820 99	マルセーユ大(フランス)
ラビッド・ブカレスト(ルーマニア)	記録不明	IB・ブランダル(デンマーク)
エンポール(ロストック)	107 4	KF・ブダペスト(ハンガリー)

(東ドイツ)

これでヨーロッパカップ編を終了することにします。要領よくまとめるつもりでしたが、ついつい長

ヨーロッパ杯をもつDHFk

くなってしまう。このあと数度にわたって、大会と離れたハンドボールの歩みを見て、この連載を閉じることにしたいと思っております (藤本強)

— 年次優勝子 —	
男子	女子
1957 プラーグ選抜	—
1959 RIK・ゲーテボルグ	—
1960 FAゲッピンゲン	—
1961 —	—
1962 FAゲッピンゲン	ブカレスト
1963 デユクラ・プラーグ	ブラーグ
1964 —	ブカレスト
1965 ダイナモ・ブカレスト	ブカレスト
1966 DHfK・ライプツヒ	ライプツヒ
1967 VfL・グンメルス	ライプツヒ
1968 ステアウア・ブカレスト	ライプツヒ
1970 VfL・グンメルス	ライプツヒ

男子

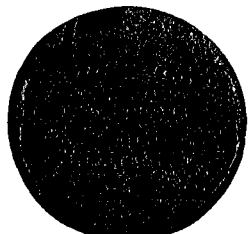
国別勝敗表

	試合数	勝	分	敗	総得点	総失点	勝率	勝率
ルーマニア	34	23	1	10	565	432	69.2	(2)
ドイツ連邦	36	23	1	12	673	487	65.4	(5)
チェコ	35	23	0	12	655	509	65.7	(4)
デンマーク	31	21	0	10	610	507	67.8	(3)
ユーゴ	35	20	1	14	630	537	61.5	(6)
ドイツ民主	26	19	0	7	508	384	73.1	(1)
スウェーデン	25	14	0	11	472	480	56.0	(9)
ハンガリー	19	11	0	8	379	336	57.9	(8)
フランス	22	10	0	12	346	391	45.5	(10)
スイス	21	9	1	11	331	376	45.2	(11)
スペイン	19	8	0	11	341	365	42.1	(12)
ソ連	12	7	0	5	236	197	58.3	(7)
オランダ	17	6	1	10	282	299	38.2	(14)
ポーランド	15	4	2	9	210	290	33.3	(15)
ノルウェー	14	4	0	10	231	264	28.6	(17)
アイスランド	9	3	1	5	133	171	38.9	(13)
ポルトガル	11	3	0	8	160	202	27.3	(16)
ベルギー	14	2	1	11	168	322	17.9	(19)
ブルガリア	6	2	0	4	87	202	33.3	(18)
オーストリー	10	1	1	8	126	215	15.0	(20)
フィンランド	9	1	0	8	167	238	11.1	(21)
ルクセンブルグ	13	1	0	12	161	322	7.7	(22)
モロッコ	2	0	0	2	13	28	0.0	(23)
イスラエル	2	0	0	2	19	38	0.0	(23)

男子

チーム別勝敗表

チーム名	試合数	勝	分	敗	総得点	総失点	勝率
デュクラ・ブラーグ	32	20	0	12	583	451	62.5
ディナモ・ブカレスト	25	16	1	8	394	311	66.0
FA・ゲッピンゲン	17	13	0	4	318	212	76.5
DHfK・ライプツヒ	16	13	0	3	279	215	81.3
ホンベツト・ブダペスト	18	11	0	7	368	312	61.1
バルチザン・ブジェロバール	13	9	1	3	270	192	73.0
VfL・グンメルスバッハ	13	8	1	4	253	186	65.4
メドベスカク・ザグレブ	13	8	0	5	211	182	61.5
レドベルグリッド・ゲーテボルグ	14	8	0	6	247	253	57.2
グラスホッパーズ・チューリッヒ	14	7	0	7	205	225	50.0
ステアウア・ブカレスト	7	6	0	1	139	85	85.8
ディナモ・東ベルリン	8	6	0	2	203	137	75.0
グラノラーズ・バルセロナ	11	6	0	5	228	232	54.5
KFUM・アールフス	6	5	0	1	97	75	83.3
AGF・アールフス	7	5	0	2	132	104	71.4
US・イーブリー・パリ	8	5	0	3	146	135	62.5
ツルド・モスコ	6	4	0	2	116	95	66.7
フレデンスボルグ・オスロー	11	4	0	7	185	196	36.4
スコプバツケン・アールフス	5	3	0	2	104	78	60.0
アジャックス・コペーハーゲン	5	3	0	2	114	94	60.0



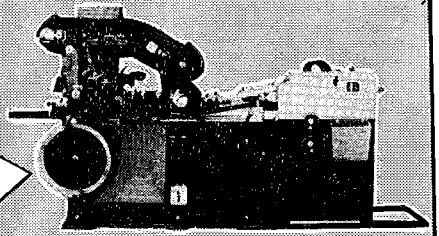
ミカドハンドボール

日本ハンドボール協会公認球



ミカド商会

東京・豊島・巢鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592



高性能機パーフェクトのほかにも
たくさんすぐれた印刷機材があります

印刷機械

●パーフェクト(全自動日四截凸版印刷機) ●各種断裁機

材料

●引戸式ケース馬 ●スチール製和文植字台 ●パテントゲラ棚…など多種

母型
活字
写真製版



千代田印刷機製造株式会社

本社	東京都千代田区神田猿樂町1の4	電話(03)(292)2011代~8
横浜支社	横浜市西区高島2丁目10番20号	電話(045)(441)6782代~4
福岡支社	福岡市御供所町3番36号	電話(092)(28)3960・0153
千葉支社	千葉市市場通り122	電話(0472)(27)6463・(22)3979
立川工場	昭島市東町1丁目1番5号	電話(0425)(23)3471~3
九州工場	佐賀県小城郡牛津町	電話(95207)0072



L・トルカさん、ひよっこり

○……全日本総合(8月18日、22日)の開かれていた和歌山県打田町に珍しいお客さまが姿を見せた。3年前、西ドイツ選抜の一員として来日、タフなプレーを見せたロタル・トルカ(二八)さん。現在もハンブルク市警察に勤めているが、休暇を利用して万国博見物と観光を目的に再び日本を訪れたもの。

○……トルカさんは、前回の来日で日本のハンドボール関係者とすっかり顔なじみになり、帰国後も文通などで「親善」の実を大きく育てている。

勤務のかたわらハンブルグのポリッアイ・ハンブルグで相変わらず元気なプレーを続けているそうだが、父親のヘルムト・トルカさんも西ドイツの女子ナショナルチームのヘッドコーチで健在、忙しい毎日を送っているという。

○……打田町には2日間の滞在で準決勝、決勝戦を熱心に観戦していたが「自分たちが来日した時より日本のハンドボールはいっそう巧くなった。しかしまだまだディフェンスが下手で研究の余地があるように思う。特にゴールエリア周辺の防禦法には欠点が目につく」と若者らしい率直な感想を述べた。

また「粗暴なプレーが多いのはなにも日本だけのことではないが日本の場合にはレフェリーの責任が十分に果されていないのも一因だ」と父親ゆずりのズバリとした意見をもらっていた。

○……最終日の前夜、女子の優勝戦大洋デパート対大崎電氣戦の予想に話はずんだ時、彼は「10-4で大洋」とみため、翌日わずか1点ちがいのスコアで大洋が勝ったのを見て友人たちが「何を根拠に……」と聞くと「僕は日本通だよ」と片目をつぶってみせるなど彼にとっては最高にゴキゲンな日本の休日だったようだ。

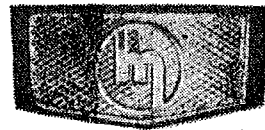
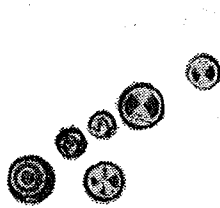
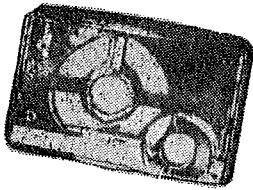
大会後、大阪で光島磯雄さんや東京で安藤純光さんなどといったその親交をあたため月末、元気に帰国した。外国選手が遠征で得た日本のよさを再び味いに来られるというのはなんとも嬉しい話である……。

【写真はワクナガ薬品・木野選手と記念撮影で並ぶL・トルカさん】

プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……

……ありません!



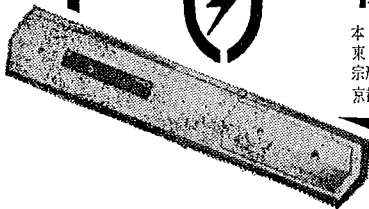
精密金型設計・製作

マイクロプラスチック成型

プラスチックメッキ

株式会社 宗形製作所

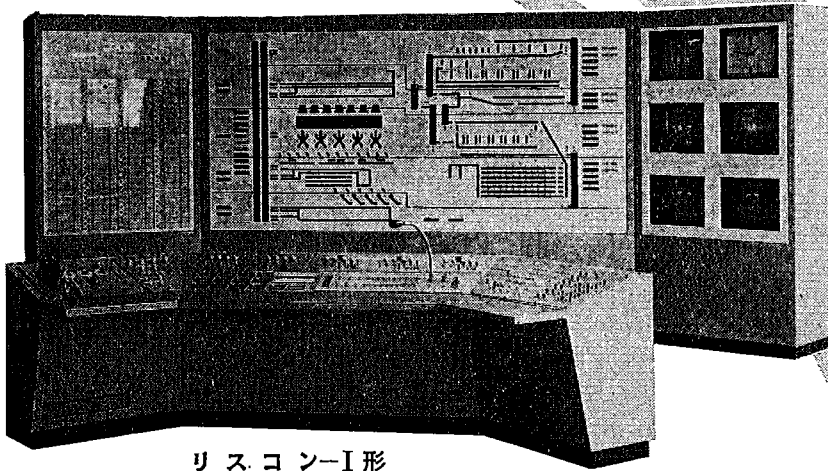
本社	大阪府高槻市辻子241番地	TEL 高槻 (0726) 75-5551
東北本社	福島県福島市清水町宇中谷地48番地	TEL 福島 (02452) 3-2812・2911
宗形工業化学株式会社	大阪府高槻市辻子252番地の1	TEL 高槻 (0726) 75-5767~8
京都金型製作株式会社	京都市南区上鳥羽花名町19番地	TEL 京都 (075) 68-9701



Osaki

営業品目

普通電力量計 電流制限器
 精密電力量計器 配線用しゃ断器
 誘導形自動電圧調整器 配電盤・分電盤制御器
 静止形自動電圧調整器 試験用変圧器
 配電線事故捜査器 各種開閉器・しゃ断器
 需要電力量遠隔測定装置 数字式テレメーター・データロガー
 電力需給用計器用変成器 標準用計器用変成器



リスコン-I形



大崎電気工業株式会社

本社及び 141 東京都品川区東五反田2の2の7 電話 (03)443-7171(大代表)
 五反田工場 電信略号 シナガワ」デンキ
 蒲田工場 144 東京都大田区多摩川2の8の1 電話 (03)759-6511(代表)
 埼玉工場 354 埼玉県入間郡三芳村大字藤久保 電話 (0492)61-1205(代表)

東京重機の初優勝成る

各地の記録

第17回関東選手権は8月29、30の両日、栃木市に8県の代表チームが参加して行われた。
男女ともトーナメントで優勝が争われ、男子は全日本チャンピオン・大崎電気(埼玉)が危気なく勝ち進んで第7回(昭35)以来11年連続タイトルを手にした。

女子は実業団、クラブの実力差がれげせん、決勝は東京重機(東京)―大崎電気(埼玉)の顔合せとなり、重機が前半鋭い攻撃で5点差をつけ大崎の追撃を振り切った。

東京重機の優勝は初、4月の関東実業団(横浜)につぐタイトル獲得だが、この時は同チーム以外に出場者がなく、実質的な「関東制覇」は今回が初めてである。なお女子で東京代表が優勝したのは、第9回(昭37)の日体大以来8年ぶり8度目。

▽男子1回戦
大崎電気 17(8―5) 東京スタ
(埼玉) 9(6―1) 11
全神奈川 23(14―9) 1012 20 AOK栃
光電工業 18(10―7) 14 塩山ク
(群馬) 8(7―7) 14 (山梨)
千代田印 18(11―8) 13 日立製作
刷機製造 18(11―5) 13 所(茨城)
▽同準決勝

大崎電気 26(12―11) 7 全神奈川
光電工業 18(9―7) 17 千代田印
▽同決勝 刷機製造
大崎電気 27(15―11) 17 光電工業
得00120540500
【須阿永今松落飯菊田佐武】
電】貝沢井井合野谷中藤内
【光久】

大崎電気 26(12―11) 7 全神奈川
光電工業 18(9―7) 17 千代田印
▽同決勝 刷機製造
大崎電気 27(15―11) 17 光電工業
得00120540500
【須阿永今松落飯菊田佐武】
電】貝沢井井合野谷中藤内
【光久】

【須阿永今松落飯菊田佐武】
電】貝沢井井合野谷中藤内
【光久】
GK F P 審・田中
大塚
7MT (1) 17

▽女子1回戦
東京重機 15(9―4) 9 栃女ク
(東京) 9(6―1) 5
日本ビク 14(7―3) 6 前橋ビジ
(茨城) 7(7―3) 6 ョンズ
佐原女子 14(9―5) 13 甲府二高
ク(千葉) 9(5―8) 13 OG
(山梨)

大崎電気 38(20―18) 2 全神奈川
(埼玉) 2(18―0) 2
▽同準決勝
東京重機 15(9―2) 4 日本ビク
東京重機 15(6―2) 4 ター
大崎電気 40(21―19) 0 佐原女子
▽同決勝
東京重機 12(6―6) 7 大崎電気

得000 41020000
大崎 嶋島尾浦川藤井
【和】 木新寺三長佐岩
GK F P 審・山内
7MT (0) 7

全愛知が2連勝節る
女子は田村紡が3年連続
第22回東海選手権は9月5、6
の両日岐阜市の西工グラウンドに東
海4県の予選勝者が集って行われ
た。

男子は野田、藤中、戸谷、GK
柳川の大同製鋼勢に松浦、安藤ら
を加えた全愛知が秀れた攻撃力で
勝ち抜き2連勝(3度目)した。
愛知代表の優勝は2年連続18度目
である。

女子は実業団三強と新進・二俣
ク(静岡)がリーグ戦で争い、田
村紡(三重)が混戦を切り抜け3
年連続6度目の優勝を挙げた。
▽男子準決勝(11回戦)
全愛知 25(15―10) 11 本田技研
常盤工業 17(8―4) 12 清商ク
(岐阜) 9(8―1) 12 (三重)
▽同3位決定戦
本田技研 13(5―8) 7 清商ク
▽同決勝
全愛知 24(12―12) 15 常盤工業

▽女子リーグ
大洋紡 18(16―2) 0 二俣ク
(岐阜) 16(16―0) 0 (静岡)
田村紡 9(4―7) 7 工業(愛
(三重) 5(4―0) 7 知
ブラザー
工業 31(13―18) 1 二俣ク
田村紡 16(8―8) 10 大洋紡
田村紡 22(9―13) 5 二俣ク
ブラザー 7(5―2) 1 大洋紡
工業 5(2―1) 1 大洋紡
【順位】①田村紡3戦全勝②ブラ
ザー工業2勝1敗③大洋紡1勝2
敗④二俣ク3敗

▽同決勝
松 蔭 9―4 東 山
▽同決勝
中 京 8(6―2) 3 松 蔭
▽同女子準決勝
高蔵女商 9―3 愛 知 商
名古屋女商 12―4 若 宮
▽同決勝
高蔵女商 13(4―1) 2 名古屋女
田村紡 22(9―13) 5 二俣ク
ブラザー 7(5―2) 1 大洋紡
工業 5(2―1) 1 大洋紡

大同製鋼、辛くも勝つ
▽第12回名古屋市民スポーツ祭ハ
ンドボール(8月・名古屋)
▽一般男子準決勝
大江ク 18―10 南山ク
大同製鋼 20―12 若宮ク
名 大ク 13―8 業
名 城ク 26―15 パイロット
▽同準決勝
大同製鋼 12―7 大江ク
名城ク 16―15 名 大ク
▽同決勝
大同製鋼 15(7―9) 14 名城ク
▽同女子決勝
ブラザー 17(8―9) 4 すみれク
工業 8(10―4) 4
▽高校男子準決勝
中 京 9―6 桜 台

▽同決勝
青 森 14―11 七 戸
青 森 商 15―7 三 本 木
青 森 13(分) 13 柏 木 農
七 戸 18―11 柏 木 農
▽同決勝
青 森 12―10 青 森 商
▽同女子予選リーグ
青 森 西 26―2 光 星 学 院
三 本 木 11―8 七 戸
青 森 西 14―0 七 戸
三 本 木 12―2 光 星 学 院
七 戸 8―6 光 星 学 院
▽同決勝
青 森 西 23―4 三 本 木
▽一般男子決勝
青 森 マ ッ ダ 23―11 青 森 商 O B
▽茨城県
▽一般男子準決勝
新 治 ク 19―11 原 子 力 研 究 所

第25回国体予選記録
(9月11
日迄に報
告のみ)
◇青森県
▽高校男子予選リーグ
青 森 14―11 七 戸
青 森 商 15―7 三 本 木
青 森 13(分) 13 柏 木 農
七 戸 18―11 柏 木 農
▽同決勝
青 森 12―10 青 森 商
▽同女子予選リーグ
青 森 西 26―2 光 星 学 院
三 本 木 11―8 七 戸
青 森 西 14―0 七 戸
三 本 木 12―2 光 星 学 院
七 戸 8―6 光 星 学 院
▽同決勝
青 森 西 23―4 三 本 木
▽一般男子決勝
青 森 マ ッ ダ 23―11 青 森 商 O B
▽茨城県
▽一般男子準決勝
新 治 ク 19―11 原 子 力 研 究 所

日立製作所 15-12 自衛隊勝田
 ◇同決勝
 日立製作所 22-21 新治ク
 ◇大阪府
 ▽一般男子準々決勝
 かつらぎク 31-16 美津濃
 大商ク 棄権 三国丘ク
 佐野工ク 45-5 西野田ク
 ワクナガ菜 46-12 大阪ガス
 ▽同準決勝
 ワクナガ菜 28-12 佐野工ク

かつらぎク 25-18 大商ク
 ▽同決勝
 ワクナガ菜 49-7 かつらぎク
 品 同女子決勝リーグ
 ▽大阪スター 14-9 大谷ク
 大阪スター 16-8 寝屋川ク
 寝屋川ク 18-10 大谷ク
 ◇広島県
 ▽一般男子準々決勝
 日本鋼管福 15-13 広商大OB
 山 同準決勝

ブロック高校選手権

◇第17回東海高校
 ◇6月27・28日 ◇豊橋
 市 ◇参加男8校、女8校
 ▽男子1回戦 静岡農(静岡) 10-9 桜台(愛知) 加納(岐阜) 22-17 四日市工(三重)、岐阜南(岐阜) 12-10 清水商(静岡)、松蔭22-3 津工(三重)
 ▽同準決勝 加納 12-6 静岡農 松蔭 8-6 岐阜南
 ▽同3位決定戦 岐阜南 7-5 静岡農
 ▽同決勝 松蔭 15(6-2) 7 加納

▽女子1回戦 清水西(静岡) 10-5 名古屋女商(愛知) 静岡城北(静岡) 11-1 四日市(三重)、大垣南(岐阜) 8-4 高蔵女商(愛知)、益田(岐阜) 11-5 津女

日新製鋼呉 放棄試合 盈進ク
 三菱レ大竹 不戦勝 呉造船
 修道ク 27-8 三原工OB
 ▽同準決勝
 日新製鋼呉 29-11 日本鋼管福
 三菱レ大竹 16-12 修道ク
 ▽同決勝
 日新製鋼呉 18-14 三菱レ大竹
 ◇長崎県
 ▽高校男子1回戦(2試合)
 長崎工 34-7 西海学園
 鹿町工 19-14 佐世保市商
 8 鶴崎工、マリスタ13-10、口加
 佐世保北18-14 香椎、財部14-13 博多工
 ▽同準決勝
 佐世保北 18-7 財部
 小倉工 12-10 マリスタ
 ▽同決勝
 佐世保北 13(5-1) 8 小倉工
 ▽女子1回戦 小祿(沖繩) 11-5 佐賀女武雄(佐賀)、熊本市立(熊本) 8-7 大分東(大分)、佐世保商(長崎) 9-2 泉ヶ丘(宮崎)、筑紫女(福岡) 14-6 純心(鹿児島)、島原農(長崎) 12-7 九州女(熊本) 別府青(福岡) 1-3 古賀(福岡)

静岡城北 6-2 大垣南
 清水西 4-2 益田
 ▽同3位決定戦 大垣南 6-0 益田
 ▽同決勝 静岡城北 5(2-1) 3 4 清水西
 ◇第20回九州高校 ◇7月23、24日 ◇福岡市 ◇参加男15校 女16校
 ▽男子1回戦 財部(鹿児島) 19-17 沖繩工(沖繩)、口加(長崎) 18-14 日南工(宮城)、香椎(福岡) 16-14 大分東(大分)、鶴崎工(大分) 24-9 福山(鹿児島)、マリスタ(熊本) 19-9 築紫中央(福岡)、佐世保北(長崎) 18-16 泉ヶ丘(宮崎)、博多工(福岡) 14-13 熊本工(熊本)。
 ▽同2回戦 小倉工(福岡) 17-1

▽同準決勝 佐世保北 13(5-1) 8 小倉工
 ▽女子1回戦 小祿(沖繩) 11-5 佐賀女武雄(佐賀)、熊本市立(熊本) 8-7 大分東(大分)、佐世保商(長崎) 9-2 泉ヶ丘(宮崎)、筑紫女(福岡) 14-6 純心(鹿児島)、島原農(長崎) 12-7 九州女(熊本) 別府青(福岡) 1-3 古賀(福岡)

▽同準決勝 佐世保北 13(5-1) 8 小倉工
 ▽女子1回戦 小祿(沖繩) 11-5 佐賀女武雄(佐賀)、熊本市立(熊本) 8-7 大分東(大分)、佐世保商(長崎) 9-2 泉ヶ丘(宮崎)、筑紫女(福岡) 14-6 純心(鹿児島)、島原農(長崎) 12-7 九州女(熊本) 別府青(福岡) 1-3 古賀(福岡)

▽同準決勝 佐世保北 13(5-1) 8 小倉工
 ▽女子1回戦 小祿(沖繩) 11-5 佐賀女武雄(佐賀)、熊本市立(熊本) 8-7 大分東(大分)、佐世保商(長崎) 9-2 泉ヶ丘(宮崎)、筑紫女(福岡) 14-6 純心(鹿児島)、島原農(長崎) 12-7 九州女(熊本) 別府青(福岡) 1-3 古賀(福岡)

▽同準決勝 佐世保北 13(5-1) 8 小倉工
 ▽女子1回戦 小祿(沖繩) 11-5 佐賀女武雄(佐賀)、熊本市立(熊本) 8-7 大分東(大分)、佐世保商(長崎) 9-2 泉ヶ丘(宮崎)、筑紫女(福岡) 14-6 純心(鹿児島)、島原農(長崎) 12-7 九州女(熊本) 別府青(福岡) 1-3 古賀(福岡)

年度	ブロック優勝	ク校	東商	沼洋	属二	農女	蔭北	方谷	工女	工商	北商
45年度	昭和高	館蘭	和附	久岡	城	中央	陽	居	居	世保	世保
44年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
43年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
42年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
41年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
40年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
39年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
38年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
37年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
36年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
35年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
34年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
33年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
32年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
31年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
30年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
29年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
28年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
27年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
26年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
25年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
24年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
23年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
22年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
21年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
20年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
19年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
18年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
17年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
16年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
15年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
14年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
13年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
12年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
11年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
10年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
9年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
8年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
7年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
6年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
5年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
4年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
3年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
2年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保
1年度	昭和高	田大海	佐岡	岡	中陽	居	居	居	居	世保	世保

◇香川県
 ▽高校男子準々決勝
 三本松 12-6 高松商
 高松南 16-6 土庄
 工芸 24-8 坂出工
 多渡津工 14-9 丸亀
 ▽同準決勝
 高松南 12-5 三本松
 工芸 20-15 多渡津工
 ▽同決勝
 工芸 22-8 高松南
 ▽同女子準決勝
 高松女商 8-6 高松南
 三本松 16-4 高松一
 ▽同決勝
 三本松 10-4 高松女商
 高松ク 22-8 常盤ク
 一般男子決勝
 高松ク 22-8 常盤ク
 オリンピック、結局アジ
 記... ア予選という形になりま
 後... した。来年はこれらの事
 集... 業がずっとならび、たい
 編... へんな年になりそうです
 次号にIHF関係の詳細
 を入れていきたいと思ひます。
 竹野オリンピック対策委員から、
 コーチンポジウムの原稿をもら
 い、この後も続けて、連載してい
 きたいと思ひています。ディフェ
 ンスの問題、ヨーロッパだけでな
 く、光島氏の寄稿にもあるように
 日本でも大きな問題となっていま
 す。選手・審判・コーチ等々ハン
 ドボール関係者全員で真剣にとり
 くんできなくてはならない問題
 です。
 (TSF)

現代スポーツ百科事典

責任監修
日本体育協会

●予約受付中！(受付期間45年8月末日まで) 予約特価7,500円(定価8,000円) ●配本=45年9月

最寄りの書店にご注文下さい

日本体育協会の全面的協力を 得た日本初の本格的スポーツ百科事典！

五大特色

1. 堂々4000項目におよぶ日本初の本格的スポーツ百科事典！
2. カラー写真、各種図版を満載！
3. 日本体育協会のもとに一流執筆陣！
4. 事典編集の壁を破る革命的編集！
5. 豪華な装幀、堅牢な造本！

●推せん者.....
松田恒次氏・美濃部亮吉氏・石原慎太郎氏・西村三郎氏・石井光次郎氏・赤石清悦氏・河野義克氏・古橋広之進氏



本事典の体裁、判型B5判/内容日本語九六〇頁、写真、図版計約一、五〇〇頁、口絵六四頁/装幀造本表紙布クロス、2色箔押し、函入り(3色オフセット印刷)ビニールカバー付

写真と図 解による ハンドボール

荒川清美・石井喜八共著 400頁

ハンドボール界の鬼才とうたわれる著者が長い間の研究成果を自らの写真と図で描いた斯界待望の技術書。

- ＜主要目次＞
- I 競技の概説と歴史
 - II ハンドボールの歴史
 - III 個人技術
 - IV 身体を扱う(ボディコントロール)
 - V シュートとその練習
 - VI キーパー
 - VII 集団技術
 - VIII コンビネーションプレーによる攻撃
 - IX コンビネーションプレーによる防御
 - X 攻防への移動練習
 - XI デッドタイムからインプレーへ
 - XII ハンドボールの科学的基礎

大修館書店 東京・神田錦町3-24 振替/東京40504

株式会社 三景



1970 · fashion

洋装服飾専門商社(株)三景・東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

3つの“日本一”を軸に 多角経営を推進



ブラザーはミシンのほか、編機、事務機、家庭電器、工作機械、それに楽器を製造しています。中でもミシン、編機、タイプライターの総生産台数は“日本一”の座を占めていますが、これを軸に、今後もますます発展してゆきたいと努力をつづけています。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
本社 名古屋市瑞穂区堀田通9の35
TEL (052)811-2511大代表

日本ハンドボール協会編
「ハンドボール」

第八十号

昭和四十年六月七日、昭和四十五年九月二十五日印刷
第三種郵便物認可 昭和四十五年十月一日発行

発行所
日本ハンドボール協会

渋谷区神南一丁目
大代表部)三二二一
東京五八三三四八番

編集兼
発行人
保坂周助

定価百五十円
11年間購読
二千二百円